

題字 故前田和二郎名誉教授
発行所 東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部
外科学教室同窓会 (刀林会)
発行人 松本純夫

コロナ下での刀林会の状況について



刀林会理事長
東京医療センター名誉院長
松本 純夫 (52回)

令和2年(2020年)は刀林会にとって外科学教室創立100周年を教室と共に祝う記念すべき年のはずであった。しかし周知のごとくCOVID-19の驚くべき流行により予定された行事の変更を余儀なくされた。日本の公衆衛生の開祖ともいべき北里柴三郎先生を初代医学部長に頂く我らとしては先人の思いに心を馳せながら現実打開を目指すのは当然のことであった。

北川雄光教授は4月に予定されていた第120回日本外科学会を8月に移し、完全Web開催とした。結果は2万人以上の会員が仮想会場に参加し大成功となった。業務多忙で会場に足を運べない若手も気軽に仕事の合間に参加できるようになったことは特筆すべき

き成果であった。刀林会は6月の定時社員総会・全員集会を取りやめ、Webによる会議に切り替えたのはご存知の通りである。12月に創立100周年記念式典をWeb形式で挙行され、本稿が出たときには終わっているはずである。記念祝賀会は2021年6月に仕切りなおす計画としているが余談は許されない。年を改めてから会員諸君にお知らせする予定である。最後に2020年に感じたことを短く記す。ゴールデンウィークでの外出自粛時には外来受診される患者数の激減に驚いた。必然、電話やオンラインによる院外処方箋発行数が増えたのであるが、処方箋は紙の発行のままであり手渡しであり、郵送するにしても患者本人や家族にとっても不便

なままであった。現在電子処方箋発行の議論が厚労省で進んでいる。また医師や看護師を始めとした国家資格をマイナンバーに紐づけることによって就労実働状況の把握を進める議論も進んでいる。働き方が対面からWebへと変わる社会に医療も対応していくべきであり、PHR(Personal Health Record)をデジタル記録としていくかを考えるべき時が来たと感じている。刀林会も時代の変化に応じてホームページもアクセスしやすい形式に変更した。今後も時代の趨勢を見ながら会員が利用しやすくなるよう変えて行くこうと考えている。

令和元年度社員総会 (web) 議事録

- 1. 日時 令和2年6月19日 午後6時から7時
事務所・臨床研究棟3階
外科学・脳神経外科学教室会議室
2. 出席した社員の数
(1) 当法人の社員の総数 54名
(2) 出席社員数50名(委任状による者を含む)
3. 出席役員等
理事:松本純夫(理事長、52回) 市来寄潔(副理事長、48回) 北川雄光(副理事長、65回) 吉野肇一(44回) 河瀬斌(49回) 島津元秀(53回) 窪地淳(58回) 小澤壯治(60回) 黒田達夫(61回) 菅貞郎(61回) 浅村尚生(62回) 志水秀行(65回) 澤藤誠(67回) 石井良幸(70回) 川久保博文(73回) 下島直樹(76回) 半田寛(80回) 和田剛幸(84回) 竹内優志(91回) 水野翔大(94回)
監事:熊井浩一郎(46回) 尾原秀明(72回)
4. 開会
定刻、法人事務局から本日の社員総数は定款に規定する定足数に達している旨の報告があった。松本理事長が議長として、本会は適法に成立したので開会する旨を宣言し、直ちに議事に入った。
5. 議事の経過の要領及びその結果

- 報告が行われた。
2. 令和元年度の年間報告について
議長の指名により、教室主任の北川副理事長より人事異動(一般・消化器外科111名、心臓血管18名、呼吸器14名、小児4名)を中心に報告が行われた。
3. 委員会報告
(1) 刀林新聞編集委員会 令和元年度には、『刀林』113、114号が発行され115号が発行作業中であることが報告された。
(2) 刀林賞選考委員会 議事にて発表
(3) 財務委員会 議事にて発表
(4) 国際委員会 議事その他にて発表

- 【決議事項】
第1号議案 令和元年度事業報告承認の件について
議長より報告事項1にて説明された報告内容について議場に諮ったところ、満場意義なくこれに賛成し、原案通り承認可決した。
令和元年度計算書類承認の件
令和元年度収支計算書総括表について小澤財務委員長より説明があった。議場に諮ったところ満場意義なくこれに賛成し承認可決した。
熊井監事より、5月26日に尾原監事とともに銀行預金通帳、貸借対照表および財産目録、出納関係書類を確認し計算書類に相違ないことが報告された。
第3号議案
令和2年度事業計画承認の件
議長が令和2年度事業計画を説明し、満場意義なくこれに賛成し原案通り承認可決した。
第4号議案
令和2年度予算案承認の件
小澤財務委員長が令和2年度収支予算書について説明した。以下2点は例年との違いについての補足説明
① COVID-19のため、総会補助費がない
② 学会支援準備金は一般会計に組み入れられたので予算をたてない。
以上について議場に諮ったところ、満場意義なくこれに賛成し原案通り承認可決した。
第5号議案
令和元年度刀林賞受賞者承認の件
島津元秀刀林賞選考委員長より、選考経過について説明があり、刀林賞 四倉正也君(89回) 刀林奨励賞 市村真也君(81回) 中野容君(90回) 満場意義なく承認された。
第6号議案
学会支援募金活動承認の件
① 第58回日本小児外科学会学術集会(黒田達夫会長)
② 第74回日本胸部外科学会定期学術集会(志水秀行会長)
以上2学会の学術支援募金活動を行うことが、満場意義なく承認された。

- 第7号議案
新入会員の件
入江理絵君(さいたま市立病院・88回) 成松裕之君(太田記念病院・93回) の入会が承認された。
また、新入室者18名(97回、97回) について報告があった。
議長は以上をもって議事が終了したことを述べ午後7時に閉会を宣言した。
【第2回社員総会 (web) 議事録】
1. 日時 令和2年8月17日 午後6時から6時45分
事務所・臨床研究棟3階
外科学・脳神経外科学教室会議室
2. 出席した社員の数
(1) 当法人の社員の総数 54名
(2) 出席社員数49名(委任状による者を含む)
3. 出席役員等
理事:松本純夫(理事長、52回) 市来寄潔(副理事長、48回) 北川雄光(副理事長、65回) 吉野肇一(44回) 河瀬斌(49回) 島津元秀(53回) 窪地淳(58回) 小澤壯治(60回) 黒田達夫(61回) 菅貞郎(61回) 浅村尚生(62回) 志水秀行(65回) 澤藤誠(67回) 石井良幸(70回) 川久保博文(73回) 下島直樹(76回) 半田寛(80回) 和田剛幸(84回) 竹内優志(91回) 水野翔大(94回)
監事:熊井浩一郎(46回) 尾原秀明(72回)
4. 開会
定刻、法人事務局から本日の社員総数は定款に規定する定足数に達している旨の報告があった。松本理事長が議長として、本会は適法に成立したので開会する旨を宣言し、直ちに議事に入った。
【報告事項】
1、同窓会年間報告
2、教室年間報告
3、広報委員会報告
4、外科学教室新人紹介
【審議事項】
第1号議案 令和元年度決算承認の件 承認
第3号議案 令和2年度予算案承認
第4号議案 学会支援募金活動の件
第58回日本小児外科学会学術集会 会長黒田達夫(61回)
第74回日本胸部外科学

5月web理事会議事録
日時:令和2年5月27日18時より
出席理事:17名、監事2名
陪席:同窓会幹事4名、堤健太郎弁護士、岡田泰税理士
理事会
以上をもって議長は閉会を宣言した。



会定期学術集会 会長  
志水秀行 (65回)  
承認  
第5号議案 刀林賞の件  
・刀林賞 四倉正也 (89回)  
・刀林奨励賞 市村真也 (81回) 中野容 (90回相) 承認  
第6号議案 ウエブ会議システム導入の件 承認以上

令和元年度 決算報告

令和元年度貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	66,378	4,984	61,394
普通預金	22,399,017	19,955,799	2,443,218
学会支援準備金会計替金	0	255,045	△ 255,045
流動資産合計	22,465,395	20,215,828	2,249,567
2 固定資産			
(1) 特定資産			
①学会支援準備金			
普通預金	0	3,260,645	△ 3,260,645
学会支援準備金合計	0	3,260,645	△ 3,260,645
②刀林基金			
普通預金	14,143,920	14,843,798	△ 699,878
刀林基金合計	14,143,920	14,843,798	△ 699,878
固定資産合計	14,143,920	18,104,443	△ 3,960,523
資 産 合 計	36,609,315	38,320,271	△ 1,710,956
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
①預かり金			
源泉所得税	8,300	0	8,300
①学会支援準備金			
一般会計未払金	0	255,045	△ 255,045
流動負債合計	8,300	255,045	△ 246,745
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	8,300	255,045	△ 246,745
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産	36,601,015	38,065,226	△ 1,464,211
正味財産合計	36,601,015	38,065,226	△ 1,464,211
負債及び正味財産合計	36,609,315	38,320,271	△ 1,710,956

令和元年度収支計算書総括表

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	合計	一般会計	刀林基金	備考
<b>I 収入の部</b>				
①会費収入	7,525,000	7,525,000	0	
②広告収入	500,000	500,000	0	
③利息	167	45	122	
④寄付金	100,000	100,000	0	
⑤雑収入	0	0	0	
当期収入合計(A)	8,125,167	8,125,045	122	
前期繰越収支差額	38,065,226	23,221,476	14,843,750	
収入合計(B)	46,190,393	31,346,521	14,843,872	
<b>II 支出の部</b>				
1. 事業費				
①「刀林」発行費	1,218,279	1,218,279	0	
②総会補助	1,518,968	1,518,968	0	
③支援寄付金	0	0	0	
④刀林賞賞金	700,000	0	700,000	
事業費計	3,437,247	2,737,247	700,000	
2. 管理費				
①人件費	2,078,667	2,078,667	0	
②通信連絡費/発送費	406,597	406,597	0	
③印刷費	451,770	451,770	0	
④会合費	179,440	179,440	0	
⑤慶弔費	326,988	326,988	0	
⑥運営管理費	1,160,700	1,160,700	0	
⑦雑費	1,547,969	1,547,969	0	
管理費計	6,152,131	6,152,131	0	
当期支出合計(C)	9,589,378	8,889,378	700,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,464,211	△ 764,333	△ 699,878	
次期繰越収支差額(B)-(C)	36,601,015	22,457,143	14,143,872	

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会 (刀林会)

令和元年度会計監査報告

令和元年度収支決算報告書、財産目録に記載された内容及び金額に記載の通り相違ありません。

令和2年 5月 26日

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会 (刀林会)

監事 熊井 浩一郎

監事 尾原 秀明

令和元年度財産目録

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金	額
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産(一般会計)		
現金		
現金手元有高	66,378	
普通預金		
ゆうちょ銀行		
慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会	15,188,094	
三井住友銀行		
(一社)慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会	3,029,150	
三井住友銀行		
慶大外科同窓会 代表 松本純夫	3,267,004	
三井住友銀行		
慶大外科同窓会 代表 川田光三	207,883	
ゆうちょ銀行		
刀林会募金委員会 代表 熊井浩一郎	706,886	
流動資産(一般会計)合計		22,465,395
2 固定資産		
(1) 特定資産		
①刀林基金		
普通預金		
三井住友銀行		
刀林基金 代表 松本純夫	14,143,920	
刀林基金合計	14,143,920	
固定資産合計		14,143,920
資 産 合 計		36,609,315
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
預り金		
源泉所得税	8,300	
流動負債合計		8,300
2 固定負債		
固定負債合計		0
負 債 合 計		8,300
正 味 財 産		36,601,015

# 国際医療福祉大学 臨床医学研究センター 教授就任



磯部 陽 (59回)

平成2年6月1日付けで、国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授を拝命致しました。3月末に30年間勤務した国立病院機構東京医療センターを定年退職しましたが、コロナ禍の混乱の中での再就職に際し、刀林会の諸先輩ならびに北川教授のご支援・ご高配を賜り、感謝申し上げます。また、卒業以来お世話になりました多くの先生方にも、この場を借りて御礼申し上げます。

国際医療福祉大学グループ



私は、成田、三田、熱海、栃木など6つの大学附属病院と山王病院、山王メディカルセンターなど全国で約60の関連施設を運営し、その多くで慶應医局出身者が活躍しています。刀林会前理事長北島政樹先生は、大先輩で、名譽学長としてグループの発展にご尽力されていきました。私が所属する山王病院は、病床は全室個室の78床で、各界著名人や外国籍の方も多数来院され、特色ある診療を行っております。外科は常勤が5名で、刀林会会員は菊池潔教授(56回)と私の2名ですが、奥田誠、榎本耕治、辻塚一幸、丸山圭一、松井哲、寺本龍生の諸先生方が過去に在籍され、北島先生も非常勤で診療されていきました。徒歩圏内にある山王メディカルセンターの外科には、奥田教授と辻塚副部長が在籍し、慶應関連の多くの先生方が非常勤で健診業務に従事されています。私は昭和55年に慶應を卒業し、一般・消化器外科に入局して旧胃班(上部班)に所属し、石引久弥先生、

吉野肇一先生、熊井浩一郎先生、久保田哲朗先生にご指導いただきました。チーフ出張の川崎市立井田病院時代からは、国立がんセンターの丸山先生のご指導も仰ぎ、胃癌学会の登録事業に参加させていただきました。東京医療センター着任後は、歴代部長の有森正樹先生、島伸吾先生、窪地淳先生の下で臨床に従事する傍ら、抗癌剤感受性に関する臨床試験や胃癌全国登録の電子化作業に没頭し、院長で赴任された松本純夫先生には、腹腔鏡・ロボット支援手術を存分に教えていただきました。松本先生が主催された第25回内視鏡外科学会総会の準備で始めた全国の内視鏡外科医との交流は今も続き、日々の励みとなっております。同時に医工連携にも関わり、腹腔鏡手術トレーニング機器を企業と共同で開発してきました。完成品は学会ハンズオンなどに採用され、若手医師の教育に少しは貢献できたのではないかと感じております。東京医療センターでの最後の数年間は、隣接

する看護大学院で診療看護師(NP)の育成にも努めました。働き方改革の中でその成果が表れ、外科医のタスクシフトを円滑に進めることができたのは喜びでした。幸運なことに、山王病院にも国際医療福祉大学卒のNPが配属されており、大変有難く思っております。

山王病院では、消化器センター長として消化器診療を統括し、医療安全、経営管理やグループ施設の情報システム整備などの業務に当たることを求められております。これまでの30数年間、素晴らしい先輩、同僚、後輩に恵まれ、多くのことを手掛けることができました。が、いずれも道半ばであり、先輩からは、もう少しの間全力で働けとの暖かいお言葉もいただいております。引き続き、外科の臨床と教育に微力ながら取り組んで参りますので、刀林会の皆様には、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

この度、2020年7月1日付けで慶應義塾大学医学部 脳神経外科教室教授を拝命いたしました。就任にあたりまして、長きにわたりご指導を賜りました故郷戸谷重雄名誉教授、河瀬斌名誉教授、吉田一成名誉教授をはじめ、脳神経外科教室の諸先生方、また外科学教室、生理学教室、先端医学研究所の諸先生方に心より御礼申し上げます。

私は1987年に慶應義塾大学医学部を卒業し、外科学教室に入局いたしました。関連病院および外科学教室(脳神経)にて脳神経外科の臨床研修後、1995年より、遺伝子組換えウイルスを世界で初めて臨床応用した米国ジョージタウン大学に研究留学いたしました。留学中に脳腫瘍に対する新たな免疫療法を開発したことが契機となり、帰国後、生理学教室および先端医学研究所に在籍し、故郷村慶一名誉教授、河上裕名誉教授のご高配のもと脳腫瘍に対する新たな治療法の研究を継続して参りました。2003年に外

科学教室(脳神経)に帰室後、脳腫瘍を中心とする診療・教育・研究に携わって参りましたが、2008年に河瀬斌名誉教授のご高配により、経鼻内視鏡頭蓋底手術を開発した米国ピッツバーグ大学に留学し、その後には耳鼻咽喉科とのチームによる経鼻内視鏡手術に力を入れ、難治性頭蓋底腫瘍の治療に取り組んで参りました。

医学が急速に進歩する一方で、超高齢社会を迎え、医療経済、さらには新型コロナウイルス感染症などの諸問題を抱える現在、求められる脳外科医療は変容しています。また、病院の機能分化が進み、高難度手術が多い脳外科では、より高い専門性が求められております。これまで多くの難治性頭蓋底腫瘍を治療してきた慶應義塾大学脳神経外科の伝統を継承し、今後も治療困難な患者さんのため、質の高い医療を提供して参ります。また、私の使命として最も重要なことは、次世代を担う脳外科医の育成です。「世界を先導する慶應

# 脳神経外科教室教授に就任して



戸田 正博 (66回)

義塾大学脳神経外科」を指して、関連施設との連携のもと国際的な視野で活躍する人材の育成に力を注ぎます。これまで臨床および基礎教室に在籍し、様々な視点から診療・教育・研究に携わって参りました。これらの経験を生かして、脳神経外科そして慶應義塾大学医学部の発展のために全力で取り組む所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**Abraxane®**

抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載  
特定生物由来製品、毒薬、処方箋医薬品(注意一医師等の処方箋により使用すること)

**アブラキサン®点滴静注用 100mg**  
**Abraxane® I.V. Infusion 100mg**  
パクリタキセル注射剤(アルブミン懸濁型)

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 大鵬薬品工業株式会社  
資料請求先 TAIHO  
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27  
TEL.0120-20-4527 FAX.03-3293-2451  
http://www.taiho.co.jp/ 提携先 Abraxis BioScience 米国

2017年4月作成

# 栃木県立がんセンター 病院長退任・理事長就任



菱沼 正一 (57回)

私は、平成25年4月から5年間務めました栃木県立がんセンター病院長を退任し、平成30年4月に理事長兼センター長に就任いたしました。ご報告申し上げます。

当センターは、検診から治療までを一貫して行うがん専門病院として昭和61年9月に開院しました。以来、県民の高度かつ増大する需要にこたえるべく、病棟の整備や高度医療機器の積極的な導入を図るとともに、「学問に裏付けられた最高の技術を愛の心で」を基本理念として、患者さんと職員がお互いに心を開いて和むことのできる診療を目指してきました。平成18年、がん対策基本法が施行され、がん対策推進計画に基づき、平成19年に当センターは都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けました。以降、栃木県がん診療連携協議会およびその部会を主催し、栃木県のがん医療水準の向上と均てん化推進において中心的な役割を担っています。

べき出来事としては、自己責任に基づく病院経営の健全化を目指し、平成28年4月から経営形態が地方独立行政法人に変わりました。地方独立行政法人の特長である自律性、機動性、透明性を活かした病院運営を行うことにより、医療環境や経営状況に応じた柔軟で弾力的な病院経営を実践し、将来にわたり持続可能な経営基盤を確立してまいります。5年間の第1期中期計画が今年度で終了し、現在、第2期の中期計画を策定中ですが、全てのがんのステージと病態に応じた適切な治療とケアを提供できる診療体制をさらに充実させ、標準治療はもちろんのこと、希少がん・難治性がんの治療、ゲノム医療、バイオバンクの設立、治験・臨床試験への参加といったがんセンターならではの質の高い医療の提供に積極的に取り組んでいきます。

さて、高齢化社会を迎え、国は人生100年時代を見据えた社会の実現をめざしています。このことを基本認識として、地域包括ケア

# 栃木県立がんセンター 病院長・副理事長就任



尾澤 巖 (60回)

平成30年4月1日付けで、地方独立行政法人栃木県立がんセンター病院長兼副理事長に就任いたしました。私は平成元年2月1日付けで当時の阿部令彦教授の赴任命令により栃木県立がんセンターに着任いたしました。当時の刀林会のメンバーは、尾形佳郎先生(現名誉病院長41回)、宮澤直人先生(呼吸器外科 43回)、池田 正先生(53回)、固武健二郎先生(54回)、菱沼正一先生(現理事長 57回)、稲田高男先生(58



回)、松井淳一先生(58回)(当時1月よりカナダに留学中)という錚々たるメンバーで、外科医になって8年目の私にとってはがんセンターに赴任できたことは非常に幸運でありました。当時のがんセンター外科は尾形佳郎先生の「若い外科医はすべてのがん手術ができなければならぬ」というお考えによるご指導のもと、肝胆膵外科医ではありましたが、乳癌の手術をはじめ食道がん、胃癌、直腸癌の手術に際しても、多くの症例を経験させていただき、現在の外科医としての私の礎となっております。

私の礎となっており、私のもとで呼吸器外科は別の診療科として診療していただきましたが、その後乳癌外科がわかれ、現在は消化器外科も食道胃外科、大腸骨盤外科、肝胆膵外科に分かれて診療しております。慶應義塾大学外科学教室からは菱沼理事(57回)をはじめとして、藤田 伸先生(副病院長64回)、安藤二郎先生(副病院長64回)、富川盛啓先生(統括診療部

血液凝固阻止剤  
**アコアラン®** 静注用1800  
600国際単位、1800国際単位/バイアル  
ACOALAN Injection アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)静注用

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 協和キリン株式会社  
販売元 一般社団法人 日本血液製剤機構

2019年11月作成

【文献請求先及び問い合わせ先】  
日本血液製剤機構 くすり相談室 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/d/>

漢方医学と西洋医学の融合により  
世界で類のない最高の医療提供に貢献します

自然と健康を科学する  
漢方のツムラ

<https://www.tsumura.co.jp/>  
●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。  
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

# 丸山記念総合病院 院長就任



大石 崇 (61回)

令和2年4月1日に丸山記念総合病院院長を拝命いたしました。私は昭和57年に医学部を卒業し、大学病院を中心とした研修の後に平成2年から5年間の国立栃木病院(現栃木医療センター)勤務、25年間の東京医療センター勤務を経てこの度の就任となりました。慶応病院での研修期間より腸癌として大腸癌を中心とした大腸疾患に対する診療と研究を行ってまいりました。また、東京医療センターでは病院の特色から腹部救急疾患に対する診療を多く行いましたが、同時に松本純夫名誉院長のご指導のもとで鏡視下手術の研鑽も多数積まさせていただきました。

丸山記念総合病院はさいたま市岩槻区にある総合病院で創立120年の歴史があります。古川俊治先生の実家の病院、SAMさんの実家の病院として紹介すると理解していただける方が多いように感じています。丸山医院が産科と内科で開設され古川外科が合流したこともあり産婦人科、内科、

外科が病院の中心となっており、他の診療科も積極的に診療を行っております。現在は急性期病床とともに地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床を合わせて214床で運用しています。岩槻区で唯一の総合病院であることから地域の急性疾患患者は原則として受け入れることを目標に、昨年度は2700台の救急車に必要しました。外科は喜寿を過ぎて現役の丸山正重理事長、そのご子息で私と同時に多摩丘陵病院から帰ってこられた丸山正太郎先生(82回相当)、私を含めて総勢7名の常勤医で診療を行っております。胆石症、胆嚢炎、鼠径ヘルニア、大腸癌などを中心に鏡視下手術を行っており、乳癌、胃癌、肝胆膵の悪性腫瘍なども多数こなしています。

本年は新型コロナウイルスによって世界中が混乱させられていますが、当院もその嵐の中で外来患者や入院患者の減少にさらされました。少しずつ患者も以前にもどりとつありますが通

# 藤田医科大学岡崎医療センター 開院並びに病院長就任のご報告



守瀬 善一 (66回)

去る4月7日に藤田医科大学第4教育病院として岡崎医療センターが開院し、病院長を拝命して半年が過ぎました。

当院が位置するのは中核市岡崎市と幸田町からなる人口42万の西三河南部東医療圏ですが、圏域に基幹急性期病院が岡崎市民病院(700床)のみで、医療資源の不足と患者さんの圏域外流出が深刻でした。市および医師会から請われ、藤田医科大学が救急急性期・がん・手術治療などを担う400床の急性期総合病院を新設することになったのが5年以上前です。私は、藤田医科大学第1、2病院で消化器外科診療、研究、教育に携わりながら、準備室長として新病院の立ち上げに関わってきました。

私自身病院を0から立ち上げた経験は当然ありませんでしたが、学園内にもそのような作業の経験があるものはおりません。開院前4年余りは、土地区画整備、建物の設計・施工、機器の購入準備、人員計画など、理事者を交えた議論と現場・メーカーとの交渉の中で、目の前の紙の上だけで200億円以上の予算が処理されてゆくのに何とか追いつきながら、病院に魂を吹き込みたいと努力をしてきました。

本年2月になって建物が引き渡され、機器搬入と院内業務のシミュレーションを開始するタイミングで、厚労省からダイヤモンドプリンセス号乗客乗員新型コロナウイルス陽性者受け入れ要請が入りました。開院前の病院で医療従事者の配置は決まっていたが既存患者はおらず、感染コントロールのための交錯しないゾーニングができるということが要因であったと思われませんが、この時点で医療機器やリネン類も未納入で、食事供給や廃棄物処理の道筋も全く立っていませんでした。一両日中にこれら手配をして計画を立てながら地元の方々への説明を行い、128名の陽性者受け入れを行いました。2次感染を起こすことなく収束できたことは非常に幸運で

したが、そこには(大学・関連病院群を含めた)全職員、対策本部に入った厚労省・市保健所・消防隊・県など公的機関職員やDMAチームなどの奮闘がありました。すべての関係者がそれぞれ自分の通常業務とは少し異なった役割を担い、これまでの経験と知識を総動員して初めてタスクを完遂することができたと思っております。

開院後もコロナの波にもまれながらの船出で、半年たった現在でようやく病床稼働率が80%台に乗り、救急者受け入れ年間67000台、手術件数年間30000件のペースまで病院が立ち上がってきました。まだまだ先が見えてきたとはとても言えない現状ですが、「人の集まる良い病院」を作ってゆこうと頑張っております。刀林会諸先生方の変わらぬご指導とご支援を今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

まだないくすりを  
創るしごと。

明日は変えられる。  
astellas  
アステラス製薬株式会社  
www.astellas.com/jp/

日本標準商品分類番号 874291  
抗悪性腫瘍剤 / 抗PD-L1注1)ヒト化モノクローナル抗体  
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品注2)

**テセントリク®** 点滴静注 1200mg  
TECENTRIQ®  
atezolizumab

アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注  
注1)PD-L1:Programmed Death-Ligand 1  
注2)注意-医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関する使用上の注意、用法・用量に関する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 CHUGAI 中外製薬株式会社 (資料請求先)メディカルインフォメーション部  
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL.0120-140564 FAX.0120-189705  
Roche ロシュグループ

2019年3月作成

# 史上初の完全Web開催 第120回日本外科学会定期学術集会 開催報告

今般の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い第120回日本外科学会定期学術集会は本来の4月から8月に延期となり、当初予定しておりました現地参加とWeb参加のハイブリッド型開催から最終的には完全Web開催となりました。刀林会の皆様をはじめ、

多くの関係者の皆様のご支援により、通常開催を5,000人以上上回る過去最高の21,112名の参加登録を頂き、無事開催できましたこと心から御礼を申し上げます。本年4月、第120回日本外科学会定期学術集会在予定されていた会期は本邦におけるCOVID-19第一波のピークと重なりまし

ておりました。日々の感染状況に一喜一憂しながら不安な中で準備をすることより、「完全Web開催でどこまでできるか、慶應の総力を結集しよう」という目標のもと、教室員の皆様が懸命に努力してくれました。結果的に8月の会期は、奇しくも国内第二波のピークと重なり、この判断は間違っていないかと思っております。しかし、全く経験したことのない完全Web開催でここまで皆様に学術集会としての充実感を味わっていただけたのか、どうやって参加者を確保するかが大きな課題でした。

学術集会では発表の緊張感、臨場感に加え、双方向の議論により新しい人間関係や学術的交流を構築することが大変重要です。本学術集会では、これを可能な限り実現するため、司会、演者の皆様には予定された時間に遠隔地からWeb会議形式のセッションに参加していただき17講演会場の

プログラムのリアルタイムライブ配信することとしました。しかし、主催者も参加者も全く慣れない中で多くのトラブルやそれによるセッション時間の延長が起ることを想定し、実際には現地開催の会場数の倍の34スタジオを設置し、それぞれを教室員が担当して進行を管理することとしました。海外からの演者の皆様にも時差を考慮して可能な範囲でLive discussionへの参加をお願いし、また今回新たにWebDiscussantを多くの皆様にお願ひし、結果的に大変活発な討論が実現しました。

直前に開催された複数の学会で、通信障害など様々なトラブルが発生し、急遽サーバーを増強したり、発表音声データの全例チェックが必要となるなど膨大な作業が発生しましたが、関係者の皆様の献身的な努力により大きなトラブルもなく開催することができました。紀尾井町カンファレンス

の小さな「第一スタジオ」から三木谷浩史さん、北島康介さん、杉山愛さん、池上 彰さん、田中ウルヴェ京さんなど特別講演者の皆様にライブで講演をしていただき配信できたことは大変ありがたいことでした。私もこの第一スタジオから会頭講演をさせていただきましたが、少人数ながら教室員が「聴衆」になつてくれたのは大変嬉しく、張り合いが出ました。今回の学術集会のメインイベントとして最も力を入れてきた「記念式典」では、全国の外科医の皆様のおークエストや歌唱、未来を担う外科医からのメッセージ、未来のための今・横浜宣言の編集動画をTBSアナウンサー石井大裕さん、元フジテレビアナウンサーの木佐彩子さんのリアルタイム司会進行で配信できたことも功を奏しました。この記念式典のために竹内まりやさんが直筆でメッセージ、歌詞を書いてくださった「いのちの歌」を全国の外科医

の参加も大きな後押しとなりました。実際、お子様を送り迎えする車の中から車を停止させて発表していた演者の姿に私も驚きと感動を禁じ得ませんでした。会期後は、すべてのセッションの発表データとセッション全体のライブ映像をアーカイブ化し、2ヶ月間閲覧していただきましたが閲覧回数第一位の演題は何と2,749名の閲覧、ポスターでも1,035名の閲覧を獲得していたことには大変驚きました。さらにQ&A機能によって事後も演者との質疑応答を可能にしながら、学術交流を深めていただきました。また、直接顔の見えないやりとりの中で、演者の顔写真やプロフィールもご希望に応じて掲載するシステムも作りました。

昨日、医師の働き方改革の中で学術集会が多すぎるのではないかと、その声も聞かれます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後もこうした状況がしばらく続くことが予想されます。今回の学術集会では、一万数千人に及ぶ人の移動、集合を行うことなく、活発な学術的交流を図ることができるとは全く新しい形の学術集会のあり方を提案し、未来に向けた大きな第一歩としたいと思っております。次回の100年に向けて、この苦難を乗り越えて歩みだす慶大外科の未来を刀林会の皆様に末永くご支援していただきますようお願い申し上げます。第120回日本外科学会定期学術集会のご報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。



予定されていた会期は本邦におけるCOVID-19第一波のピークと重なりまし

た。他の主要学会に先駆けて2月に会期の延期を決定したことは正しい判断であったと考えますが、自身のこの4月の段階で8月に延期しても現地開催を伴うハイブリッド開催は困難であると判断

しておりました。日々の感染状況に一喜一憂しながら不安な中で準備をすることより、「完全Web開催でどこまでできるか、慶應の総力を結集しよう」という目標のもと、教室員の皆様が懸命に努力してくれました。結果的に8月の会期は、奇しくも国内第二波のピークと重なり、この判断は間違っていないかと思っております。しかし、全く経験したことのない完全Web開催でここまで皆様に学術集会としての充実感を味わっていただけたのか、どうやって参加者を確保するかが大きな課題でした。

学術集会では発表の緊張感、臨場感に加え、双方向の議論により新しい人間関係や学術的交流を構築することが大変重要です。本学術集会では、これを可能な限り実現するため、司会、演者の皆様には予定された時間に遠隔地からWeb会議形式のセッションに参加していただき17講演会場の

プログラムのリアルタイムライブ配信することとしました。しかし、主催者も参加者も全く慣れない中で多くのトラブルやそれによるセッション時間の延長が起ることを想定し、実際には現地開催の会場数の倍の34スタジオを設置し、それぞれを教室員が担当して進行を管理することとしました。海外からの演者の皆様にも時差を考慮して可能な範囲でLive discussionへの参加をお願いし、また今回新たにWebDiscussantを多くの皆様にお願ひし、結果的に大変活発な討論が実現しました。

直前に開催された複数の学会で、通信障害など様々なトラブルが発生し、急遽サーバーを増強したり、発表音声データの全例チェックが必要となるなど膨大な作業が発生しましたが、関係者の皆様の献身的な努力により大きなトラブルもなく開催することができました。紀尾井町カンファレンス

の小さな「第一スタジオ」から三木谷浩史さん、北島康介さん、杉山愛さん、池上 彰さん、田中ウルヴェ京さんなど特別講演者の皆様にライブで講演をしていただき配信できたことは大変ありがたいことでした。私もこの第一スタジオから会頭講演をさせていただきましたが、少人数ながら教室員が「聴衆」になつてくれたのは大変嬉しく、張り合いが出ました。今回の学術集会のメインイベントとして最も力を入れてきた「記念式典」では、全国の外科医の皆様のおークエストや歌唱、未来を担う外科医からのメッセージ、未来のための今・横浜宣言の編集動画をTBSアナウンサー石井大裕さん、元フジテレビアナウンサーの木佐彩子さんのリアルタイム司会進行で配信できたことも功を奏しました。この記念式典のために竹内まりやさんが直筆でメッセージ、歌詞を書いてくださった「いのちの歌」を全国の外科医

の参加も大きな後押しとなりました。実際、お子様を送り迎えする車の中から車を停止させて発表していた演者の姿に私も驚きと感動を禁じ得ませんでした。会期後は、すべてのセッションの発表データとセッション全体のライブ映像をアーカイブ化し、2ヶ月間閲覧していただきましたが閲覧回数第一位の演題は何と2,749名の閲覧、ポスターでも1,035名の閲覧を獲得していたことには大変驚きました。さらにQ&A機能によって事後も演者との質疑応答を可能にしながら、学術交流を深めていただきました。また、直接顔の見えないやりとりの中で、演者の顔写真やプロフィールもご希望に応じて掲載するシステムも作りました。



慶應義塾大学医学部  
外科（一般・消化器）教授  
慶應義塾大学病院 病院長  
北川 雄光（65回）

北川 雄光（65回）

の参加も大きな後押しとなりました。実際、お子様を送り迎えする車の中から車を停止させて発表していた演者の姿に私も驚きと感動を禁じ得ませんでした。会期後は、すべてのセッションの発表データとセッション全体のライブ映像をアーカイブ化し、2ヶ月間閲覧していただきましたが閲覧回数第一位の演題は何と2,749名の閲覧、ポスターでも1,035名の閲覧を獲得していたことには大変驚きました。さらにQ&A機能によって事後も演者との質疑応答を可能にしながら、学術交流を深めていただきました。また、直接顔の見えないやりとりの中で、演者の顔写真やプロフィールもご希望に応じて掲載するシステムも作りました。

さて今回の学術集会のテーマは「命と向き合い、外科医として生きる」としました。我々外科医は様々なリスク、苦悩や葛藤を乗り越えて成長し、命と向き合う喜び、やりがいを感じながら、手と掴んできました。外科学、外科医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、これからの外科医がどのように生きていくべきか、会員の皆様に加え、多くの医学部生、初期臨床研修医の皆様にも参加していただき、外科医の生き方、外科学の歴史と発展、そしてこれからの外科学、外科医療の行方を見つめ直すことが少しでもできたこととしまして、望外の喜びです。刀林会の皆様と華やかで賑やかな学術集会を味わうことができなかつたことは私にとりまして大変心残りです。正直なところ「何で今年に限ってこんなことか」という思いがございます。しかし、教室開設100年の年に、こうした試練に直面し、新しい時代への挑戦ができたことも我々慶大外科に課せられた宿命であり、使命であったと考えています。次の100年に向けて、この苦難を乗り越えて歩みだす慶大外科の未来を刀林会の皆様に末永くご支援していただきますようお願い申し上げます。第120回日本外科学会定期学術集会のご報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

「慶應義塾大学医学部外科学教室 100 周年記念講演会」のご案内

2020 年 12 月吉日

刀林会会員各位

「慶應義塾大学医学部外科学教室 100 周年記念講演会」のご案内

一般社団法人 慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会 (刀林会)

理 事 長 松本 純夫

慶應義塾大学医学部外科学教室

一般・消化器 教授・教室主任 北川 雄光

小 児 教授 黒田 達夫

呼吸器 教授 浅村 尚生

心 臓 血 管 教授 志水 秀行

謹啓

寒冷の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

慶應義塾大学医学部外科学教室 100 周年記念事業は、刀林会会員の皆様の多大なるご支援とご協力を賜りまして、本年 12 月 26 日にオンライン形式に変更して記念講演会を開催させていただくことになりました。本記念講演会では、国内外のご来賓を予定していた方々のご祝辞をビデオレターにて紹介するとともに外科学教室の 100 年の歩みや外科学教室 4 診療科の歴史と未来について報告致します。若手外科医による未来に向けた宣言をした後、特別講演として日本外科学会理事長 九州大学大学院 消化器・総合外科 教授 森正樹先生より「これからの外科学」についてご講演を賜る予定です。

教室員一同、会員の皆様のご視聴を心よりお待ちしておりますので、何卒よろしくお願いたします。

謹白

慶應義塾大学医学部外科学教室 100 周年記念講演会

主催：慶應義塾大学医学部外科学教室

共催：慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会 (刀林会)

形態：Web 形式

日時：2020 年 (令和 2 年) 12 月 26 日 (土) 15:30~18:00

会場：ホテルオークラ東京「オーチャード」

式次第

総合同会 教室幹事 尾原秀明、西村英理香 (95 回相当)

1. 開会挨拶 教室主任 教授 北川雄光

2. 祝辞

慶應義塾常任理事 竹内勤先生

慶應義塾大学医学部長 天谷雅行先生

慶應義塾大学医学部同窓会 (三四会) 会長 武田純三先生

慶應義塾大学病院事務局長 松田美紀子様

慶應義塾大学病院看護部長 加藤恵里子様

慶應義塾大学医学部麻酔学教室 教授 森崎浩先生

慶應義塾大学医学部整形外科教室 教授 松本守雄先生

慶應義塾大学医学部脳神経外科教室 教授 戸田正博先生

慶應義塾大学医学部救急医学教室 教授 佐々木淳一先生

(15:45~16:00)

3. 海外からの祝辞

Han-Kwang Yang M.D. (Seoul National University College of Medicine, Korea)

Patricia K. Donahoe M.D. (Massachusetts General Hospital, USA)

Ramon Rami Porta M.D. (Hospital Universitario Mutua de Terassa, Spain)

Surin Woragidpoonpol M.D. (Chiang Mai University, Thailand)

4. 歴史ビデオ 5分

5. 慶應義塾大学外科学教室の歴史 司会：刀林会理事長 松本純夫

・外科学教室の歩み 教室主任 教授 北川雄光

・各診療科の歴史と未来

一般・消化器 教授 北川雄光

小児 教授 黒田達夫

呼吸器 教授 浅村尚生

心臓血管 教授 志水秀行

6. 若手外科医の未来に向けた宣言 (平田雄紀 (90 回)、綿貫瑠璃奈 (92 回))

7. 第 120 回日本外科学会定期学術集会開催報告 教室幹事 尾原秀明

8. 特別講演 40 分 司会 教室主任 教授 北川雄光

「これからの外科学」 日本外科学会理事長 九州大学大学院 消化器・総合外科 教授 森 正樹 先生

9. 閉会挨拶 刀林会理事長 松本純夫

# 第29回日本乳癌学会学術総会



杏林大学医学部  
乳腺外科学教授  
井本 滋 (64回)

この度、2021年7月1日(木)〜3日(土)の3日間にわたりパシフィコ横浜ノースにおいて第29回日本乳癌学会学術総会を開催させていただきました。これも一重に、刀林会会員の皆様のご厚情とご支援の賜物であり心から御礼を申し上げます。

本総会は第5回を榎本耕治先生(慶應義塾大学医学部外科)、第8回を田島知郎先生(東海大学医学部外科)、そして第15回を池田正先生(帝京大学医学部外科)が開催されました。刀林会会員として14年ぶりの開催であり、大変光栄でありますとともに責任の重さを痛感しています。

術が保険収載されたこともあり整容性が重視されています。リンパ節郭清術もセブチネルリンパ節生検に基づく腋窩治療の個別化が進み、リンパ節転移陽性症例でも所属リンパ節への放射線療法により郭清が省略されています。さらに、BRCA1/2 遺伝子変異を伴う乳癌あるいは卵巣癌の既発症者を対象に、リスク低減乳房切除術とリスク低減卵巣卵巣摘除術が保険収載され予防切除が行われる時代となりました。

「乳癌診療は急速な進歩を遂げています。薬物療法では従来の抗がん薬に加え、遺伝子発現プロファイルに基づく precision medicine から分子標的薬が実装されています。手術療法では1980年代に乳房切除術から温存手術へ移行しましたが、現在は乳房再建

術が保険収載されたこともあり整容性が重視されています。リンパ節郭清術もセブチネルリンパ節生検に基づく腋窩治療の個別化が進み、リンパ節転移陽性症例でも所属リンパ節への放射線療法により郭清が省略されています。さらに、BRCA1/2 遺伝子変異を伴う乳癌あるいは卵巣癌の既発症者を対象に、リスク低減乳房切除術とリスク低減卵巣卵巣摘除術が保険収載され予防切除が行われる時代となりました。

私こと、2018年6月に本学会理事長に就任し、ミッションとして「国民が安心できる乳がん診療を提供すること、ビジョンと

# 第74回日本胸部外科学会 定期学術集会



慶應義塾大学医学部  
外科(心臓血管)教授  
志水 秀行 (65回)

このたび、第74回日本胸部外科学会定期学術集会の会長を拝命いたしました。1948年に設立され、心臓血管外科、呼吸器外科、食道外科の学術的発展、医療の安全性向上、後進の育成などにおける多大なる貢献をもって本領域を牽引してきた伝統ある学会で、会員数は8000人を越えて

います。年に1回開催される定期学術集会は、胸部外科学に関する最新情報を共有、討論する貴重な場であるとともに、教育、診療の向上、国際交流の場としてきわめて重要な役割を果たしています。

石川七郎先生(第24回)、井上 正先生(第39回)、末舛恵一先生(第43回)、川田志明先生(第50回)、小林紘一先生(第56回)、四津良平先生(第62回)、藤田博正先生(第65回)が会長として学術集会を主催されています。

第74回定期学術集会のテーマは、「未来のための今」とさせていただきます。これは、慶應義塾の創立から間もないころ、彰義隊と官軍の戦いの砲声がかたまたま中であつてもウェーランド経済書の講述を続けられた福澤先生の「未来を見据えよ。今のための今」ではなく、未来のための今」という慶應義塾の原点の精神であり、ご承知の通り、

北島政樹先生が第100回日本外科学会が使われたテーマでもあります。新型コロナウイルス感染症、外科医の減少、働き方改革など、さまざまな課題を抱える今、改めて、未来のためにわれわれが行うべきことを考え、力を結集して力強く前進するためにも有意義な学術集会にしたいという強い思いを重ねさせていただきます。

# 9th Reduced Port Surgery Forum (RPSF) 2020 研究会延期について



国家公務員共済連合会  
立川病院消化器外科部長  
亀山 哲章 (72回)

Reduced Port Surgery Forum は、内視鏡手術のさらなる低侵襲化と発展を目指す研究発表、知識の交換、会員相互の交流を通じて内視鏡外科の発展に寄

与することを目的に開催される研究会であり、本趣旨に賛同する単孔式内視鏡手術研究会と Needleoscopic surgery meeting が合同で毎年開催している日本内視

鏡外科学会公認の学術集会です。私、亀山(72回生)が第14回単孔式内視鏡手術研究会当番世話人として鋭意準備を進めてきました9日

Reduced Port Surgery Forum (第14回単孔式内視鏡手術研究会、第23回 Needleoscopic Surgery Meeting) は、2020年12月3日(木)〜4日(金)開催の予定でありましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み、2020年度の開催を中止することを決定しました。

最後にありますが、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々とご遺族のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、現在も闘病中の患者様および対応にあたられているすべての皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。



病院紹介

JCHO 埼玉メディカル センター



一般・消化器外科部長 唐橋 強 (69回)

JCHO 埼玉メディカル センターは、人口122万人の政令指定都市さいたま市にあり総病床数395床(うち外科病床46床)の地域中核病院です。

昭和23年に社会保険第一病院として発足、昭和30年に現在地に新築移転、社会保険埼玉中央病院と改称し

平成20年には従来の開設者である国(社会保険庁)から独立行政法人年金・健康福祉施設整理機構(RFO)に出資・移管されま

指定病院とされており、年間約450例の高度な悪性腫瘍手術に取り組んでいると同時に、地域中核病院として、急性虫垂炎等の急性疾患、鼠径ヘルニア、気胸等も積極的に診療していま

多摩丘陵の一角を占める稲城市は、東京のベッドタウンとして発展を続け、常に「住み安さランキング」の上位に位置される緑多い街です。この「住み安さランキング」の上位に位置す

理由の一つが我々の「稲城市立病院」の存在です。稲城は多摩川の流域ということもあって梨の栽培に適しており、昔から梨農家が多いのどかな牧歌的な土地でした。しかし第二次世界大戦時には、

が移管され、昭和21年に稲城市立病院として開設。その後市制改革により昭和46年稲城市立病院と改称、平成10年全面改築し現在の稲城市立病院となりました。平成24年に、市民の健康を守るための人間ドックや健康診断の拠点となる「健診棟」と、市民の健康を育てるプール・フィットネス設備のある「健康増進棟」が増築されました。今年、令和2年には、病院創設70周年を迎えております。

胆石・鼠径ヘルニア・腸閉塞等の良性疾患、そして急性腹症の緊急手術にいたる幅広い疾患の加療にあたっております。当院外科は、手術のみならず、食道癌、胃癌、大腸癌の内視鏡的治療(ESD等)も、外科で行っております。また、平成24年に、放射線照射施設・外来化学療法室が新たに設置され、癌の集学的治療が可能となっております。

副院長 齋藤 淳一 (72回)



平成23年から耐震化整備工事(病院建て替え工事)が着工され、平成26年には新棟建て替えが完了、同年

昭和(91回相当) 下部消化器)と、慶應外科専門医研修プログラムからD3の石黒勇輝君、さいたま市立病院外科専門医研修プログラムからD4の菅野正紀君の計9人で診療にあたっております。

埼玉県は県南に医療施設が集中し、当院近隣にも同規模かそれ以上の中核病院が多く存在しております。その中で、特色を維持しつつ地域医療をこれからも担っていくために、今後も慶應外科学教室、刀林会先生方の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



この陸軍の工場に働く人々のために昭和15年に陸軍によりつくられた東京第二陸軍造兵廠多摩製造所多摩病院が稲城市立病院の前身です。第二次世界大戦終了後、稲城村にこの施設

病棟数は290床で、診療科は17の中規模病院です。刀林会員は、現在、5名常勤しております。すべ

稲城市は、日本でも数少ない人口の増加している都市です。2030年まで人口増加が見込まれ、約10万人強の都市となる見通しです。高齢化および人口増加に伴い、今後、更なる手術数の増加が予想され、慶應義塾大学一般・消化器外科学教室の関連病院として、地域医療に対応していきたいと考えております。

# 2019年度「刀林賞」 選考結果について



刀林賞選考委員会 委員長  
医療法人社団幸隆会  
多摩丘陵病院 院長  
島津 一元秀 (53回)

2019年度刀林賞には3篇の優れた論文が応募されました。通常一堂に会して行われる選考委員会はコロナ禍の影響で評価表を集計してメールで持ち回り審議を行うことになりました。12名の選考委員に投稿論文を送りし、全員から詳細な査読評価を頂きました。総論的にはいずれも優れた論文であるとの評価でした。その中で最も評価点数の高かったのは四倉正也論文で、3/4の選考委員が刀林賞に推薦しました。選考理由として、進行癌ではなく早期肺癌に対してGSP scoreという術前に簡便に測定できる指標が予後

予測に有用であることを初めて証明した研究であること、多数の症例を用いたコホート研究でImpact Factorの高い雑誌に掲載されていること、などが挙げられました。他の2論文も大多数の委員が刀林会奨励賞に値するとの評価でした。中野容論文は肝切除後遠隔期の肝機能と肝再生(回復率)の関係を様々な肝切除率に分けて検討した点や、4型カラーゲン7Sが肝回復率のバイオマーカーになり、その術前値によって肝切除量に配慮すべきという点が独創的であると評価されました。市村真也論文は脳幹部出血に対する手術という



議論のある新しい概念の治療に積極的にチャレンジして好成績を残している点、一般病院でも留学経験を活かして論文を発表している点、などが高く評価されました。メールでの審議の結果、選考委員全員一致で四倉論文を刀林会刀林賞に、中野論文ならびに市村論文を刀林会奨励賞に選考いたしました。令和2年5月27日に開催されたWEB理事会での審議を経て、最終的に今回の選考結果が承認されました。

この度は歴史と伝統のある刀林賞を頂戴し、大変光栄に存じます。論文作成にあたり多大なご指導をくださいました呼吸器外科浅村尚生教授をはじめ、呼吸器外科教室の先生方、刀林賞選考委員の先生方、ならびに刀林会会員の皆様に、この場をお借りし深く御礼を申し上げます。

受賞論文「Value of the Glasgow prognostic score in resectable non-small cell lung cancer」は、I期・II期肺癌患者において、血液中の炎症反応に基づくスコアリングが予後因子となることを示した論文です。肺癌患者の予後は、TNM分類に基づく病期や病理学上の組織型に影響されることとが広く知られています。このような予後因子の多くは、手術切除検体を用いて評価することによって得られる情報です。他方、手術検体に依存せずに手術前の段階で早期肺癌患者の予後評価を行うことは、治療方針選択のために重要と考えられます。本論文は切

除可能肺癌患者において、血中アルブミン値とCRP値というシンプルな採血項目を組み合わせて算出したGlasgow Prognostic Score (GPS) が予後と有意に関連することを示しました。慶應義塾大学病院にて完全切除を受け病理学的I期またはII期と診断された非小細胞肺癌患者1048人を対象とし、術前採血の結果をもとにGPSを算出し、GPS 0点、GPS 1点、GPS 2点に群分けを行いました。その結果、手術後5年の推定全生存率は、GPS 0点症例が91.2%、GPS 1点症例が78.3%、GPS 2点症例が75.8%となり、多量解析の結果、GPSが高値であることは独立した予後不良因子であることが示されました。GPSは肺癌の病期や組織型とは異なり、術前の情報のみから得られる有意な予後因子であると結論づけられました。

GPSは、進行期の肺癌や消化器癌において予後予測因子として有用であることが既に知られていました。が、比較的早期の肺癌においても有用であることはこれまで殆ど知られてきませんでした。GPSは手術検体を用いず得られる肺癌患者の予後因子として稀少な存在であり、簡便に得られることから臨床応用性の高い研究であると考えました。

本研究は、当呼吸器外科の小開胸と胸腔鏡を併用した手術によって、安全性を保ちながら短時間で肺癌の切除を行い、多くの症例を経験を積ませていただく中で生まれた臨床上の疑問点を高次元化したものです。今後呼吸器外科医として精進を続け、手術を中心とする臨床に即した研究を行い、世の中に発信することができると努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。

## 刀林賞を受賞して



国立がん研究センター  
中央病院 呼吸器外科  
四倉 正也 (89回)

## 刀林奨励賞を受賞して



医療法人社団康久会  
川崎中央クリニック  
市村 真也 (81回)

この度は名誉ある刀林奨励賞を授与され誠に光栄です。受賞対象となったのは「World Neurosurgery」誌に2018年に掲載された「Surgical Treatment for Primary Brainstem Hemorrhage to Improve Postoperative Functional Outcomes」という論文です。

私は日本脳神経外科学会より日独交換留学生に選考され、2014年に渡独しドイツ医師資格を取得しました。その後は頭蓋底外科と脳幹部手術で世界的に最高峰の施設の一つであるInternational Neuroscience Institute (INI) に手術チームの一員として所属し、頭蓋底外科と脳幹部手術の研究を積み重ねました。帰国後はINIより導入したIntracranial Positioning (半座位法)を立ち上げ、頭蓋底外科や脳幹部手術に積極的に用いてきました。

# 刀林奨励賞を受賞して



慶應義塾大学医学部  
外科（一般・消化器）  
中野 容（90回相当）

この度は、榮譽ある刀林奨励賞を受賞することができ、大変光栄に存じます。今回の受賞にあたり、日頃よりご指導頂いております北川雄光教授、北郷実准教授および直接論文のご指導を賜りました板野理・現国際医療福祉大学医学部消化器外科学主任教授に厚く御礼申し上げます。

この度私が受賞した論文は、International Hepato-Pancreato-Biliary Asso-

の的中長期的な肝機能改善率を考慮すると、術前に4型コラーゲン7Sが高く、切除量が多くなる術式に関しては、できる限り肝臓を温存するような術式を検討する必要があります。本研究により、可能なかぎり肝容量を温存することが中長期的な肝機能改善につながる

が、一方本邦も含め東アジア地域、インドでは食道癌といえは扁平上皮癌という状況には変わりはありません。このような背景のもとで、食道扁平上皮癌に特化した英文テキストをこの領域をリードする我が国から発刊すべきとの想いで、2014年に私が日本食道学会の公職をリタイアする機に、本書初版を編纂しました。副題のように疫学そして診断から治療全域を網羅する内容とし、冊子体とともにeBookの体裁をもとっています。初版より5年が経過する中で食道癌取



本受賞を励みに、今後とも肝胆膵移植領域において多くの知見を発信できるよう精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。

## 私の著書

# Esophageal Squamous Cell Carcinoma -Diagnosis and Treatment- 2nd Edition



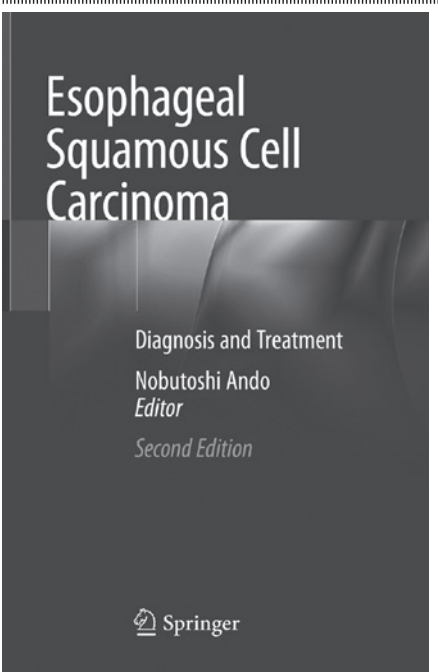
国際親善総合病院  
院長  
安藤 暢敏（50回）

今世紀に入り欧米の食道癌治療の対象は下部食道腺癌が急増し、High volume centerでは食道癌患者の80%以上を占め、国際学会における検討対象も圧倒的に下部食道腺癌優位になっています。食道扁平上皮癌は特異な領域として扱われかねない傾向にあります

ん。このような背景のもとで、食道扁平上皮癌に特化した英文テキストをこの領域をリードする我が国から発刊すべきとの想いで、2014年に私が日本食道学会の公職をリタイアする機に、本書初版を編纂しました。副題のように疫学そして診断から治療全域を網羅する内容とし、冊子体とともにeBookの体裁をもとっています。初版より5年が経過する中で食道癌取

扱い規約、食道癌診療ガイドラインも改定され、胸腔鏡下食道切除術もさらに普及し、薬物療法では免疫チェックポイント阻害薬が臨床の場に加わるなどの進展がみられます。この間に初版は15000 chapters以上の購読実績との報告を出版社であるSpringer社から受け、第2版の編纂にいたりました。全20章、402頁、139葉の図表を含み、私も1章を担当しました。

英祐（88回）、さらに津金昌一郎（59回疫学）、中西幸浩（病理）、矢作直久（内視鏡的治療）の諸先生にも加わっていただきました。海外からも初版時の香港、インドの若手リーダーに加え中国、韓国のビッグネームからもそれぞれの現況を寄稿していただきました。食生活や医療制度などの疾患背景、さらには根治手術に対する外科医の考え方の違いなど、それぞれの国柄を垣間見ることができると興味深い内容です。



分担任執筆には下記のようにならうにオール慶應の力を結集し、一部JCOG食道がんグループメンバーの協力もいただきました。慶大外科食道グループの執筆者は（敬称略）藤田博正（51回）、小澤壮治（60回）、愛甲聡（65回）、北川雄光（65回）、佐藤道夫（66回）、小柳和夫（71回）、竹内裕也（71回）、川久保博文（73回）、坊岡

今回の編纂にあたり慶大外科の総合力、底力をあらためて感じた次第で、今後この流れを絶やさぬよう版を重ねてゆくことを、若き俊英たちに期待しています。

帰室報告



慶應義塾大学医学部 外科(一般・消化器)

長谷川 康 (81回)

このたび、北川雄光教授のご高配にあずかり帰室いたしました。81回生の長谷川康と申します。肝胆膵・移植班に所属し、肝移植を中心に診療しております。どうぞよろしくお願いたします。

私は、2002年に慶應義塾大学医学部を卒業し、科学教室に入局しました。2005年より肝胆膵・移植班に所属し、北島政樹前教授・島津元秀先生のご指導のもと「ABO血液型不適合肝移植」を課題として学位研究を行い、2009年にポストチーフ出張で国際親善総合病院に赴任しました。

2010年10月、大学院連携型高度医療人育成コースで岩手医科大学へ赴任し、2020年3月までの約10年間お世話になりました。岩手医科大学への異動は、若林剛前教授・高原武志先生からお誘いを頂き、肝胆膵・移植手術の修練をするためでした。まず、

開腹での肝胆膵高難度手術を教わり、2014年に日本肝胆膵外科学会高度技能専門医を取得しました。つづいて、腹腔鏡下肝切除術を学び、2015年に日本内視鏡外科学会技術認定を取得しました。臨床・研究・教育と多岐にわたり活躍の場をくださった、岩手医科大学の佐々木章教授・新田浩幸教授に感謝申し上げます。

岩手ではとても大きな出来事がありました。一つは、東日本大震災です。異動後半年も経たない2011年3月11日の事でした。東京でも大変なことになっていたとは思いますが、岩手県沿岸地域の惨状は信じがたいものでした。もう一つは、私自身が交通事故に遭ったことです。タクシーの後部座席に乗って

いる時、ダンブカーと正面衝突しました。10カ所ほどの骨折をし、3か月間休職しました。入院中に北川雄光教授・板野理先生が見舞いに来てくださり、非常に嬉しかったことを覚えております。

2020年4月に慶應義塾大学に帰室し、ご栄転された篠田昌宏先生の後を受け継ぎ、尾原秀明先生に指導を仰ぎながら肝移植医療に従事しております。至らない点も多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

令和2年4月に帰室させていただきました。肝膵膵移植86回生の田中真之です。平成21年4月に外科学教室に入局し、平成23年よりレジデントとして肝胆膵・移植班に所属させていただきました。大学3年間ではトップランナーである様々な先生方から臨床および研究のご指導を賜り、academic surgeonの基礎を学ぶことができました。平成26年よりポストチーフ出張としてがん研有明病院肝胆膵外科で3年間レジデントとして研修させていただきました。そこでは他大学の肝胆膵外科医と共に切磋琢磨しながら、肝胆膵外科症例を多く学ぶことができ、濃い3年間を過ごすことができました。その後ドイツのハイデルベルク大学一般・消化器・移植外科に2年間留学させていただきました。脾切除術を年間700件行っている世界屈指の脾臓外科施設であり、世界的な脾臓外科医であるThilo Hackert教授から直接ご指導を賜り、信頼関係を築けたことは私の財産になったと思います。帰国後1年間川崎市立川崎病院外

帰室報告



慶應義塾大学医学部 外科(一般・消化器)

田中 真之 (86回)

帰室報告



慶應義塾大学医学部 外科(小児)

山田 洋平 (81回)

2014年に米国ポスト留学からの帰室報告に続く2回目の報告となります。2014年8月から2018年3月まで慶應大学病院に勤務したのち、2018年4月から2020年3月まで黒田達

夫教授のご高配で、世田谷大蔵にいます国立成育医療研究センターに向向させていただきました。成育医療研究センターは、Top Master's in Healthcare Administrationに公開されております。30

Most Technologically Advanced Children's Hospitals in the Worldの18位にランクされ、世界有数の先進的小児病院に位置づけられております。外科系では、小児外科、腫瘍外科、心臓外科、脳神経外科、

整形外科、泌尿器科、そして臓器移植センターと小児の専門外科領域に特化した分類となっており、各部門の連携体制のもとに診療が提供されております。特記すべきは、術後管理を担当するPICU、救急対応の救急科、24時間体制の放射線科、さらには専門領域の間をつなぐ役割としての総合診療科が充実しており、こうした診療体系のおかげで、各外科専門領域が専門分野に特化した診療を追求できる体制になっております。

私は、小児外科部長の藤野明浩先生(75回生)のもと、様々な新生児外科・腫瘍外科手術を経験させていただき、さらに臓器移植センターの笠原生先生には小児肝臓移植・小腸移植

をご指導いただき、大変充実した時間を過ごさせていただきました。二年間にわたる成育医療研究センターでの大変貴重な経験から、今後の日本における小児医療体制の道筋を創造するための洞察を拝受することができ、黒田達夫先生・藤野明浩先生には改めて感謝申し上げます。日本における少子高齢化の潮流は緩やかになる気配を見せておりませんが、重症な小児患者が長期生存する時代にあつて、21世紀における小児医療の発展に努めて参ります。

科に配属となり、肝胆膵外科の指導を仰ぐことができ、また、恥ずかしながらも若い先生と手術する機会を得ました。今まで自分が学んできたことを表現する機会に恵まれ、自分の成長を感じることができた1年でした。このような貴重な経験をさせていただいたにも拘わらず、大学に帰室して半年経った現在、自分の不甲斐なさを痛感しております。しかし、大学には無限の可能性があると思っておりますので、それをものにでき

るよう日々様々なことにチャレンジしようと考えております。末筆となりましたが、外科医としてのキャリアパスを与えていただきました外科学教室および諸先生方、帰室にあたりご高配賜りました北川雄光教授に厚く御礼申し上げます。今後も先生方のご指導のもと研鑽を積んで参りますとともに、私が受けた教育を後輩の先生方に施せるよう鋭意努力していく所存です。ご指導の程何卒よろしくお願申し上げます。



帰室報告



慶應義塾大学医学部  
外科(一般・消化器)  
松井 信平 (87回)

2020年4月より帰室致しました、一般・消化器外科腸班の松井信平と申します。私は、大学レジデント終了後、国際医療福祉大学三田病院2年間、がん研有明病院3年間の出張を経て帰室させて頂きました。

三田病院では池田佳史先生(67回)、首村智久先生(72回)、似鳥修弘先生(77回)のご指導のもと、専門の大腸癌手術だけではな

く、消化器癌全般や池田先生のご専門の一つでもある甲状腺癌の内視鏡下手術まで、幅広く低侵襲手術に関する修練を積ませていただきました。

2017年から出向させて頂いた、がん研有明病院は、大腸外科では慶大外科からの初めての派遣でした。日本一の大腸癌手術症

例数を誇るセンター病院であり、全国の大学、病院から志の高い大腸外科医たちが応募してくる場所でした。大腸癌領域の Conventional 手術から骨盤内蔵全摘といった拡大手術まで、

9割以上の症例を腹腔鏡手術で行い、ほぼ毎週全世界から見学者があり、週2回の朝カンファレンスでのプレゼンは英語で行われるという環境でした。3年間で

数多くの手術を経験できただけでなく、全国から集まる同世代の大腸外科医たちと、家族と一緒にいる時間以上の時間を共にし、一生

の良きライバルを得ることができました。また、隣に併設されているがん研究所では野田哲生

所長のご指導のもと、学位取得研究テーマでもある『肥満と大腸癌発癌』について、次世代シーケンサによる全エクソーム解析やRNAマイクローアレイによるトランスクリプトーム解析を用いた発がんメカニズムに関する研究を継続しております。

最後になりますが、6年前の大学レジデントの際に瀕死の事故に遭い、多大なご迷惑をお掛けしたにもかかわらず、このような経験の機会、ならびに大学に

帰室する機会を与えてくださいました北川雄光先生、長谷川博俊先生、岡林剛史先生をはじめ、外科学教室

の先生方にはこの場をお借りして感謝の辞を述べさせていただきます。この5年で積むことができた経験を

少しでも医局や後輩の先生方に還元するとともに、自身の更なる成長を目指して日々研鑽を続けて参りたい

と思います。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い致します。

帰室報告



慶應義塾大学医学部  
外科(小児)  
高橋 信博 (88回)

私は2018年5月より2020年7月まで米国 Boston の Massachusetts General Hospital, Pediatric Surgical Research Laboratory / Research Fellow として留学させて頂いた頂きました。Dr. Patricia K. Donahoe が主宰される当研究室では長く

Miller 管抑制因子 (MIS) を中心とした幅広い研究が行われており、近年 MIS の卵巣癌に関する作用を報告して以来、卵巣癌の研究が盛んであり、私は卵

巣癌に対する CRISPR-Cas9 技術を用いた遺伝子治療に関する研究に携わらせていただきました。この研究は Massachusetts Institute of Technology (MIT) との共同研究であり、

MIT の研究室で行われた CRISPR Screening のデータを基に特定の遺伝子を標的とした治療を検討しました。米国での留学生活では、

多種多様な人が集まりお互いを尊重しながら一つのプロジェクトを遂行するという米国ならではの手法を学ぶことができ、非常に感銘

をうけました。また、貴重な人間関係の構築や、昨今日本でも話題になっているライフワークバランスについても考えさせられる機会となり、非常に充実した2年間となりました。COVID-19の影響で一時自宅待機となり、学会発表なども中止となることもありましたが、逆に帰国後でもオンラインでラボのメンバーと情報交換する機会が増え、今後にも役に立つのではないかと感じております。このような非常に充実した留学の機会を与えてくださった黒田達夫教授を始め、刀林会の諸先輩方には非常に感謝しております。この場をお借りし御礼を申し上げます。今後この2年間の経験を慶應外科学教室の今後に生かせるように精進していく所存であります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



留学報告

フランス IRCAD

2020年10月からフランスのストラスブール、Research Institute Against Digestive Cancer (IRCAD) に留学させて頂いております。ストラスブールはフランス・アルザス地方の人口約30万人の都市です。ドイツとの国境沿いに位置することから、フランスとドイツを融合させた歴史ある文化を持つ観光都市として有名で、年中多くの観光客で賑わいます。腹腔鏡のトレーニング施設である

IRCADには、世界中から様々な臓器の腹腔鏡トレーニングコースに年間4000人以上の参加者が集まり、さらにヨーロッパを中心に世界中から医師や技術者が集まって低侵襲外科手術に関する研究を行っています。IRCAD創設者の Jacques Marescaux 教授は、2001年に手術ロボット da Vinci を用いニューヨークから遠隔操作で、ストラスブールの患者の胆嚢摘出術を世界で初めて成功させたリンドバーグ手術で有名です。IRCADでは医師以外にエンジニアが多く在籍しており、共同で多数の研究が行われております。その中でも、私はコンピュータサイエンスを専門としたエンジニアで構成された R&D (Research and development) チームに入って日々活動を行っております。このチームは拡張現実や人工知能を用いた手術支援システムの開発を行っており、私は主に人工知能を用いて、腹腔鏡手術の効率化や安全性の向上のために、解剖や手術工程認識の自動化を目指して研究しております。近年自動車の自動運転やチャットボットなど身の回りでも多くの人工知能が導入されており、医療分野においても画像認識を中心に人工知能が用



竹内 優志 (91回)

いられ始めております。しかし、手術領域に関してはまだまだ発展途上であり、大変研究しがいのある分野となり、日々刺激を受けております。その一方で、フランス国内における COVID-19 の患者数は増加の一途をたどり、10月30日から再びフランス全土でロックダウンとなつてしましました。前回行われた春のロックダウンの状況と異なり多少規制は緩和されているものの、おもに仕事場との往復のみで、外出も殆どできない状態です。早期の収束を心から願うばかりでございます。末筆ながら留学に際し格別のご高配を賜りました北川雄光教授、川久保博文先生、尾原秀明先生、留学に際しご指導賜りました若林剛先生、日頃よりご支援賜っている刀林会の皆様にご心より御礼申し上げます。今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



分野において画像認識を中心人工知能が用

エッセイ

JAXAについて

刀林会の皆様、ご無沙汰しております。今回、私が所属する JAXA について紹介いたします。JAXA は、一九六九年一〇月の宇宙開発事業団 (NASDA) の創立に始まり、その後、二〇〇三年一〇月に、日本の航空宇宙三機関である、文部科学省宇宙科学研究所 (ISAS)・独立行政法人航空宇宙技術研究所 (NAL)・特殊法人 (NASDA) が統合されて、現在の JAXA となりました。(向井

千秋元宇宙飛行士は、NASDA、JAXA で活躍されました。) その間、有人宇宙開発は、米国の競争から国際協力の時代に移り、一九九八年から米国、ロシア、欧州、日本、カナダの一五か国による国際宇宙ステーション (ISS) の建築が始まり、二〇一一年七月に完成しました。私が勤務する筑波宇宙センターでは、ISS の中で最大の実験施設である日本実験棟 (きぼう) の運用管制や日本が誇る宇宙ステーション補給機 (こうのとり) の運用管制を実施しているほか、各種人工衛星の運用管制等を行い、大規模な災害予測や日本の河川を誰でもモニタリングできる「Today's Earth-Japan」システムを公開して防災分



野における新たな事業の創出も行っています。また、相模原キャンパスには、小惑星リュウグウからサンプルを回収して現在、地球へ帰還中のはやぶさ2の運用管制室があります。さらに、種子島宇宙センターからは、こうのとりを宇宙に運ぶ HII-B ロケットの打ち上げ、内之浦宇宙空間観測所からはイプシロンロケットの打ち上げを行うとともに、全国各地の JAXA 施設で、次世代の HII-A ロケットの開発が進められています。

国立研究開発法人  
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)  
有人宇宙技術部門 総括医長  
三丸 敦洋 (64回相当)

二〇一九年、日本政府は、米国が提案している月周回有人拠点 (Gateway) 構想へ参加することを決定しました。これから、JAXA は、地球低軌道の民間利用の促進や深宇宙探査に向けて、民間企業との協力を進めており、トヨタと有人圧ローバーの検討について合意の発表や、JAXA の共創型研究開発プログラム「宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPACE)」の取り組みの一環として、宇宙および地球上における食料の生産・供給に関する課題解決ならびにそれに伴うマーケットの早期創出を目指す「Space Food X (スペースフードエックス)」プログラムも始動しています。現在、新しい宇宙飛行士を来年 (二〇二一年) 秋ごろに募集することを目指し、準備を開始しています。これからの JAXA をどうぞ応援してください。

なでしこ外科医



稲城市立病院 乳腺外科

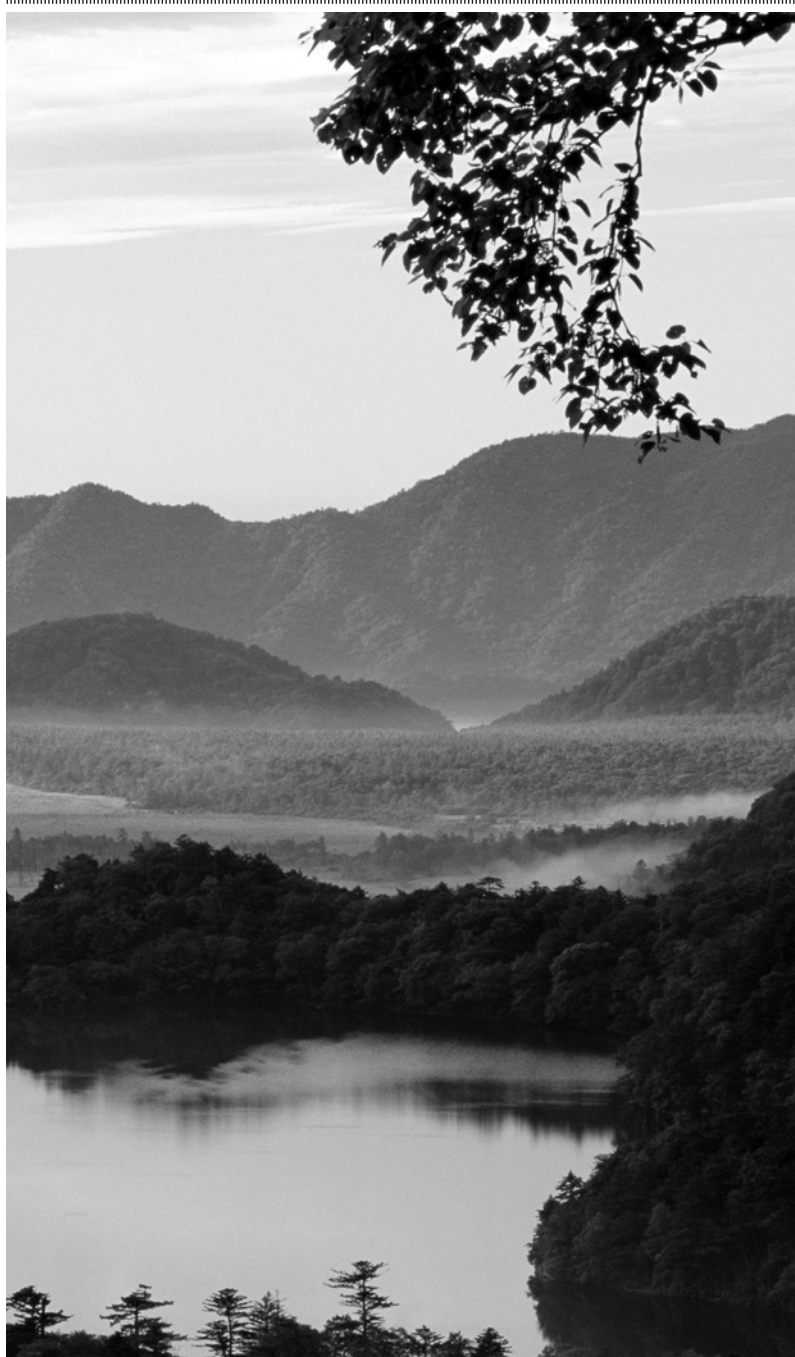
廣瀬 盟子 (86回相当)

この度は刀林会新聞「なでしこ外科医」への寄稿という貴重な機会を与えてくださり誠にありがとうございます。86回相当の廣瀬盟子と申します。2009年に外科学教室へ入局し、北里研究所病院、けいゆう病院へと出向させていただき、外科学の基礎を学び多くの手術経験を積ませていただく中で、外科医という仕事の素晴らしさや手術の面白さをより一層感じると同時に、外科治療が内包する恐ろしさや外科医の責任の重さを痛感しました。出向先でお世話になりました

諸先生方の温かいご指導が支えとなり、人の役にたてる外科医に早くなりたいという気概を持ち続けることができ、2011年に帰室いたしました。外科修練の入り口であるこの大切な時期に妊娠した私を、当時1-4(1-5)チームの先生方、84回チームの先生方をはじめ多くの先生方が全力でサポートしてくださったことは、生涯忘れることはできません。この当

時にお世話になりました。数多くの先生方にこの場をおかりして心より感謝申し上げます。当初は上部消化管班に所属させていただいておりましたが、出産後に大学院生として基礎研究に就く中で夫の体調不良が重なり、育児家事等の家庭の仕事と外科医としての仕事をこれからどう両立させていくかを考えさせられる転換期が訪れました。癌の手術をする外科医として働きたいという思いは変わらず、基礎研究から病棟医に復帰した後に乳腺班に移籍させていただき、乳腺疾患の診察から診断、治療に至る乳腺外科医としての基礎を一から学び、乳腺班ポスト

チーフとして稲城市立病院に出向させていただき現在に至っています。育児家事と夫のサポートをしながら常勤の乳腺外科医として働くことができる大変有難い環境で受け入れていただき、最大限のご支援をくださる稲城市立病院の先生方に深く感謝申し上げます。日本人女性が生涯で乳癌に罹患する確率は約10% (9人に1人)と増加の一途を辿っています。乳腺外来にいらっしゃる患者さんからは、「女性の先生だったかから来ようと思った」「主治



なでしこ外科医



国家公務員共済組合連合会 立川病院

武居 友子 (87回相当)

この度は、このような機会をいただきありがとうございます。ポストチーフとして日野市立病院で2年間お世話になった後、現在の勤務先である立川病院に異動して現在4年目となります。今年、目標であった技術認定医を取得することができ、食道癌の手術も指導医なしで執刀できるようになりました。今まで諸先

輩方に、何度も手術指導に来ていただいたおかげであり、この場を借りて心より感謝申し上げます。初期研修を終了後、医局に所属せずに川崎市立川崎病院で後期研修をしていたところを刀林会の先輩方に拾っていただいた事が、現在に至るキャリアのスタートであり、非常に幸運であったと考えております。

近年、女性外科医の割合が増えてまいりましたが、消化器外科医として活躍する女性医師はまだ数が少ないのが現状です。消化器外科医として、男性医師と同様に実績を積んでいくことで、より多くの女性医師がなでしこ外科医を目指して

くれるように、今後も精進してまいります。また、女性ならではの丁寧な診療や心遣いは、外科医としてポイントな要素と考えています。「女性外科医は安心で頼れる存在」と思っているだけ時代が来ることを目指して頑張りますので、今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。

# 女性医師働き方アンケート結果 について



慶應義塾大学医学部  
外科（一般・消化器）  
中村 理恵子（79回）

近年、全医師数に占める女性医師の割合は増加傾向にあり、約2割を占めるようになってきている。特に若年層における女性医師は増加しており、医学部入学者に占める女性の割合は約3分の1となっている。これらを考慮すると今後勤務医師における女性の割合は増加し、勤務上女性医師の出産育児にかかわる休暇や労働時間の制限等の問題と直面する可能性が高くなると考えられる。今回、関連施設のご協力を得て、施設における就労関連の取り決めの状況を把握するため、女性医師に対する出産・育児についてのアンケートを施行した。27施設から回答を得た。その結果を提示する。

妊娠・出産関連では、産前休暇は6週から7〜14週、産後休暇は8週と多くの施設でほぼ同様であった。これは労働基準法にて原則として出産予定日の6週間前（42日間）から、双子以上の場合は14週間前（98日間）から取得可能であると同等である。一方で、産前産後休暇の賃金規定においては、有給（同賃金・減給を踏む）と無給がほぼ同率であった。育児休暇は1歳までと3歳までの2区分が多く、育児休暇中は無給の施設が多かった。また、多くの施設で出産祝い金が設定されていた。産後労働環境では、産後の勤務時間の設定はほぼ通常勤務と同等であり、時間外労働の免除は当直・オンコール免除などとしてすべての施設で行われている。始業・終業時間の繰り下げや繰り上げは全施設で可能であり、保育園の送り迎え等により柔軟に対応できると考えられる。勤務延長時、外来延長時、他医師への交代が可能など施設が多く、工夫はそれぞれで相談が必要となる施設もあるとされる。事業内託児施設は8割以上の施設で完備されている。育児保育ができる施設も3割弱の施設で存在し、常勤勤務を続ける子持ちの医師においては非常に心強いと考えられる。ただ、これら対応はほとんどが未就学児までであり、小学校就学以降には通常勤務に戻り、また学童併設の施設は2施設と非常に少ないため、就学以降の勤務体制が課題とも考えられる。全施設において子供の看護休暇制度は存在するため、急な対応においては対応可能である。一方で男性医師の育児休暇取

得制度も8割強の施設で存在し、有効な活用が期待される。また常勤勤務が難しい場合、退職ではなく一旦非常勤として勤務することも選択肢として考えられる。非常勤として働ける制度がある施設が約半数、勤務形態は様々で、また業務内容も各施設により異なるため、本人の意思により個々に相談する必要があると考えられる。託児所についても、非常勤でも利用できる施設とそうでない施設が存在するので考慮しなければならぬ。また通常勤務可能な場合、非常勤から常勤に戻れる制度のある施設は7施設存在した。

今回の調査により、施設ごとの差はあるものの、妊娠・出産・育児の過程において柔軟な対応のでき、利用できる併設施設のあることが明らかとなった。女性医師として、また女性医師を配偶者にもつ男性医師としても今後のライフプランをふまえた上で勤務施設が選択できるようにすればよいと思われる。今後さらなる充実が望まれる。

**労働関連質問**  
1 育児中労働時間について  
勤務形態・常勤

1-1 基本労働時間は何時から何時までですか

8時30分から16時45分	1
8時30分から17時	8
8時30分から17時15分	6
・一日あたり1時間の保育時間あり(有給)	1
8時30分から17時25分	1
8時30分から17時30分	5
8時45分から17時5分	1
8時45分から17時10分	1
9時から16時	1
9時から17時	2
時短勤務有	1

1-2 基本の休日は何曜日ですか

第1・3・5土曜日・日曜日	1
第4土曜日・日曜日・祝日	1
第2・4・5土曜日・日曜日・祝日	2
土曜日・日曜日・祝日	9
土曜日・日曜日	5
日曜日のみ	4
日曜日・ほか一日	2
日曜日・祝日・隔週土曜日	1
日曜日・祝日・年末年始	1
指定なし	1

1-3 所定時間外勤務の免除・削減はありますか

あり	27
なし	0

「あり」の場合、以下の労働規則はありますか

**当直免除**

あり	20
なし	7
・規則はないが実質的には免除となっている	3

**オンコール免除**

あり	17
なし	10
・規則はないが実質的には免除となっている	3

**フレックスタイム制**

あり	5
なし	22

**始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ**

あり	27
----	----

・育児短時間勤務制度有  
・1日2時間までの勤務時間の短縮可  
・1日の上限2時間として、30分単位で始業時間の繰り下げ、または就業時間の繰り上げ可  
・30分単位で2時間30分まで短縮可  
・30分単位で早出勤または遅出勤  
・保育園の送迎に合わせ調整する  
・ドクターマザー制度(子供が中学校にあがるまで利用可)週29時間以上の勤務を条件にライフスタイルにあわせて勤務シフトを組むことができる  
・1歳まで1日あたり1時間(有給)3歳まで1日あたり2時間(無給)  
・実情に合わせ相談

**女性医師の出産育児にかかわる休暇・労働についてのアンケート集計結果**  
アンケート提出施設 27

**休暇関連質問**

1. 貴院で規定された産前休暇期間をお答えください。

6w	15
7~14w	11
15~19w	0
20w	0
その他	1
・産前産後合わせて16W	

2. 貴院で規定された産後休暇期間をお答えください。

8W	25
9~14W	
15W以上	1
その他	2
・産前産後合わせて16W	
・8~10W	

3. 産前・産後休暇期間の賃金設定はどうなっていますか。

有給で同賃金	9
有給であるが減給	2
無給	14
その他	2
・住宅手当のみ	
・健保より出産手当金支給	

4. 育児休暇は何歳までとれますか

1歳まで	10
・2歳まで延長可	1
1歳半まで	1
2歳まで	2
・要延長申請	1
3歳まで	11
6歳まで	1
無制限	2

5. 育児休暇中の賃金設定はどうなっていますか

有給で同賃金	0
有給であるが減給	4
・1歳までその後は無給	1
無給	18
その他	5
・住宅手当のみ	1
・育児休業給付金がハローワークより支給	2
・雇用保険より給付金支給	2

6. 出産祝い金等の設定はありますか。

あり	24
なし	1
その他	2
・健保組合より出産育児一時金付加金を支給	2



5 育児期間における勤務形態

常勤であった女性医師が出産を機に非常勤に変更する形態はありますか。

あり	13
なし	14

勤務形態:非常勤

すべて応相談	8
勤務時間については個々の相談	5

1 労働時間について 短時間勤務としての例

- ①週32時間(1日8時間×週4日)
  - ②週30時間(1日6時間×週5日)
  - ③週20時間(1日4時間×週5日)
- 賞金 常勤時の金額から労働時間の短縮割合に応じて減額した額

- ①9時～13時
- ②13時～17時
- 週に1～4回
- 賞金 4時間当たり40000円、7時間の場合は70000円

- ①8時30分～16時
- 週に5日 賞金正規職員の80パーセント

2 行いうる勤務内容について

外来	7
検査(内視鏡・エコー・乳腺生検等)	6
外来手術	7
全身麻酔下手術 術者	6
全身麻酔下手術 助手	6
未記入	6

3 託児所

非常勤があずけられる託児所

あり	7
なし	3
未記入	3

その料金

年齢により、1回あたり2700円～3600円	1
25000円	1
常勤と同様	2
一日1400円	1
未記入	2

4 保険加入

あり	7
なし	2

5 一旦非常勤になった医師が常勤に戻る制度はありますか

あり	7
なし	1

短時間勤務からフルタイム勤務へ戻る  
特別な制度はないが、本人の勤務状態と所属長の判断により身分切り替えあり

その他、女性医師を勤務継続するための工夫等ありましたらご回答ください

- ・女性専用ラウンジ、当直室あり
- ・有給休暇2時間単位での取得制度
- ・労働時間短縮(時短制度あり)
- ・急な子供の病気などで勤務できない場合の代行医師を決めておく
- ・時間外免除、研究日(1日/週の有効利用etc)
- ・院内病児保育
- ・制度について丁寧に説明している
- ・出産・育児にかかわる女性医師から人気の高い病院となっています

1-4 延長時の対応はどのようにしていますか。

他医師へ交替	10
可能な限りは本人が時間調整するが、不可能な時は交替する	1
超過勤務の免除と制限の制度あり。深夜勤務も免除	1
本人の事情により勤務交代または、時間外勤務	1
時間内に終了する手術のみ担当する	1
臨機応変に対応	1
部長先生と相談して対応	1
手術を継続する	1
できるだけ時間外にならないように他の医師と協力して柔軟に対応	2
事例無	4
記入無	4

1-5 外来延長時の対応はどのようにしていますか

他医師へ交替	10
可能な限りは本人が時間調整するが、不可能な時は交替する	1
超過勤務の免除と制限の制度あり。深夜勤務も免除	1
本人の事情により勤務交代または、時間外勤務	1
時間内に終了する手術のみ担当する	1
臨機応変に対応	1
部長先生と相談して対応	1
手術を継続する	1
できるだけ時間外にならないように他の医師と協力して柔軟に対応	2
可能な範囲で対応してもらっている	1
事例無	3
記入無	4

1-6 その他工夫はありますか

記入無	21
院内保育所の利用可(一時保育を含む)	1
業務内容の割り振りを調整する	1
契約時間内に診察および診療が終了した場合は業務を終了できる	1
育児短時間勤務	1
柔軟に対応	1
非常に自由度の高い制度となっている	1

1-7 これらはいつまで対応していますか

2歳児まで(幼稚園入園前)	3
3歳まで	4
3歳から5歳児まで(3年保育幼稚園在園児)	13
小学生就学まで	3
小学生まで	1
原則2年だが、院長が認める場合は延長可能	1
未記入	1
外科では事例がないが、本人と相談しながら決めていく予定	1

1-8 上記基本労働時間を変更した場合の賞金はどのようにしていますか

短縮分を減額	12
労働時間に換算して基本給を支給	1
最大1時間減額	1
管理職・変動なし 一般職・変動有	1
無給	1
週の所定時間に応じて変動	1
部分休業・基本給は同じ、時間分減給	1
育児短時間・基本給を減、時間分減給	1
基本給減額無、諸手当・支給なし	1
実労働時間分支給	1
1歳まで 減額なし 1歳から3歳まで 減額有	1
所定労働時間を満たしている場合は減額支給	1
規定なし	1
記入なし	4

1-9 子供の看護休暇制度はありますか。

あり	27
なし	0

2 託児所について

2-1 事業内託児施設の有無

あり	22
1勤務3000円	1
役職により 0-2歳40000円～60000円、3歳以上35000円～45000円多子減免あり	1
0-2歳 50000円、3-5歳35000円	1
月額17000円、食事代1日350円	1
月額17000円、日額1000円	1
月額20000円	1
年齢によって21000円～31000円	1
病院内ではなく提携託児所(100メートル以内)25000円	1
11日以上27000円、10日以下22000円(給食おやつ代含む夕食300円)	1
月額28000円、月間20日に満たない場合は利用日数×1400円	1
月額30000円	1
上限30000円	1
月額38000円	1
月額40000円	1
月額41500円	1
納税額による	2
居住する市町村の基準額:認可保育園と同様	1
具体例 記入無	4
なし	5

2-2 病児保育の有無

あり	8
無料	3
小児科で対応・入院扱い	1
1回2500円	1
月額23800円	1
具体例 記入無	2
なし	19

2-3 ベビーシッター料金補助

あり	2
・1回300円	1
・1回1500円	1
なし	25

3 学童について

院内学童(もしくはそれに代わる施設)	
あり	2
なし	25

4 男性医師の育児

男性の育児休暇取得	
あり	23
なし	4
育児のための男性の所定時間外勤務の免除・削減	
あり	21
なし	5
無記入	1

地域便り

2005年5月に、郷里の広島県で開業しました。私が生を受けたのは、世羅郡という草深い僻村で、祖父は馬で往診していまし...



瀬戸内海に面した人口46万人の福山市に土地を求め、日帰り手術を専門とする独立型無床診療所を開設しました。福山には山陽新幹線...

も安全な麻酔法を求めて施行錯誤を重ね、TLA(低濃度局所浸潤麻酔)と持続静脈麻酔の組み合わせで、ほぼ全ての手術症例で安定した麻酔が可能となり...

この方を、永遠のいのちを、想います。遠隔地にありながら、北川教授の御高配により、慶應義塾大学の外科専門医研修関連病院の末席に加えて頂いています。過日、教室から尾原秀明先生、林啓太先生が視察に来られました。両先生の存在を背に感じながら下肢静脈瘤の手術を行いました。後刻、看護師が「凄く真剣にみておられました」と教えてくれました。



山本醫院 山本 裕 (59回相当)

地域便り

岡山県倉敷市

倉敷市は岡山県南部に位置し人口47.5万人と、岡山市に次ぐ岡山第二の都市です。白壁の街並みで有名な倉敷美観地区や、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋などでご存じの方もいらっしゃるかと思います。



倉敷市は倉敷中央病院と川崎医科大学附属病院の1000床を超える2大病院を中心、中小の病院がそれぞれの専門性を生かして医療圏を形成しています。

私は、慶應義塾大学を卒業し外科学教室に入室後、国立病院機構埼玉病院、伊勢原協同病院、慶應義塾大学病院(一般・消化器外科)での後期研修を終え、がん研有明病院(胃外科)、シカゴ大学(中村祐輔教授研究室)での勤務など、非常に多くの先輩方にご指導いただきました。充実した外科医としての研修を積ませていただき、2018年に父が運営する松田病院を継承するため、帰郷のお許しをいただきましたこと、北川雄光教授をはじめ、教室の先生方には心より感謝しております。



医療法人天和会 松田病院 副理事長 松田 達雄 (86回)

また、岡山に帰ってきてよく「慶應ではどうだった?」と聞いて意見を求められることがよくあります。慶應義塾大学外科学教室で教育を受けた者として、岡山で「さすが慶應」と思われるよう今後も必死に努力してまいります。また人数は少ないですが岡山三四回や、倉敷三田会などもあり、慶應出身者の繋がりの強さには驚きを感じました。

幼いころ祖父や父が、手術に病棟にと人生のすべてを患者さんに捧げる姿を見て、外科医を志しました。「小規模、個人病院、外科急性期」はもしかしたら今の医療政策にはそぐわないかもしれませんが、しかし、慶應義塾大学外科学教室で学んだことを最大限生かし、大病院にまけない良質な外科治療を提供することができれば、今後も地域に貢献できるのではないかと考えております。

診療体系グループ紹介

心臓血管外科



慶應義塾大学医学部 外科 (心臓血管) 教授 志水 秀行 (65回)

心臓血管外科は、教授志水秀行(65)、准教授伊藤 努(68)、専任講師山崎真敬(78)、木村成卓(79)、助教 高橋辰郎(81)、秋山 章(88相)の6名のスタッフとチーフレジデント3名、レジデント3名、大学院生1名の計13名体制で活動しています。各スタッフは高い専門性を持つ協調性をもって業務を遂行しており、大動脈疾患、後天性心疾患、先天性心疾患の3領域がバランスよく発展しています。大動脈領域は弓部大動脈瘤や胸腹部大動脈瘤などオープンサージエリーにおいて高い評価を頂いていることに加え、近年は、ステントグラフトなど血管内治療においても代表的施設としての地位を確立しています。弁膜症領域では得意とするMICS(低侵襲手術)の適応を積極的に拡大し、また、大動脈弁手術・僧帽弁手術における新しい術野展開法を開発したことにより注目を集めています。循環器内科とハートチームとして行っているTAVI(経カテーテル大動脈弁置換術)の症例数は全国のトップクラスで

す。冠動脈バイパスは多岐病変・重症例に対する手術を積極的にを行い、症例数が増加しています。先天性領域も新生児や成人期の再手術例など重症例においてもしっかりと成果を挙げ、全体の症例数を増やしています。2019年の手術実績はMajor surgeryが49.5%あり、手術死亡率1%以下であり、質・量ともに良好な結果を達成しています。2020年はCOVID-19の影響で一時は手術を行えない状況となり、その後も手術室、ICU、救急外来との連携が不可欠である当科は手術数を抑制せざるを得ない期間が他診療科よりも長く続きましたが、おかげさまで現在では月々金の毎日、以前と同様のペースで予定手術を行っています。

研究面では、3領域がそれぞれのテーマで基礎研究、臨床研究を進めており、さらに、他診療科との共同研究も行っています。循環器内科が基礎研究を積み重ねてきたiPS細胞由来の再生心筋移植の臨床第一例目を実施責任者として間も

なく実現する予定です。全国的には外科希望者の減少が問題となっており、おかげさまで当科は順調に新入局者がおり、徐々に関連病院の人事が充実しつつあります。引き続き関連病院との連携を一層深めつつ、しっかりと人材育成に取りくみます。来年は第74回日本胸部外科学会学術集会をはじめ、米国胸部外科学会(AATS)との共催によるMitral Conclave, Aortic Symposiumを主催する予定です。本格的な準備を始めています。教室員それぞれが活躍する場をもつ活気に満ちた診療科として一層の発展を目指してまいります。

これからも、刀林会の先生方のご指導、ご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

近況報告

48回生



市来 清 (48回)

国立病院機構を定年退職して早いもので10年が経ちました。退職前に人生初の約7週間のベッド上安静という辛い経験をしたことか

ら、高齢者の体力の維持・増進がいかに大変なものかを実感しました。そんなこともあって、介護老人保健施設で同期の高橋啓泰君と一緒に、楽しく仕事をしております。世の中は

昭和44年卒業の深谷です。私は、自院がすでに愛知県で開業していたため、入局2年目で外科医局を離れてしまいました。母校は遠くから医学部新聞で知ることとなり今日にいたります。しかし近くに藤田医大が来て、同窓の方々との交流がはじまり、今は母校との強い絆を感じております。



深谷 皓孝 (48回)



林 寛 (48回)

退職後、水泳と野菜作りを始めて10年経ちました。週一回の水泳レッスンを続け、今年、1500mを54分で泳げました。世界記録の選手がゴールした時、ま

だ400m付近で浮かんでいるほどの超ゆっくりです。体験型農園で3年間野菜作りを勉強、なかでもナス栽培は面白く、側枝二個採りで一株から80個ほど収穫しました。今は、玄関先の小さな畑で、ブロッコリーが小さな可愛い花蕾をつけています。子ども二人は独立、私達夫婦と元野良猫の母子2家族(計5匹)と同居中、人間年齢では全員70歳以上の高齢者なので、今後は皆で現状維持を心がけます。

3年前から息子に病院経営を譲り、今は長年の仲間のような地域の患者さんたち相手に外来や検診をしています。ゴルフが唯一の趣味となり、週1回のラウンドを楽しんでいます。



追悼

故・村山博良先生を偲ぶ

前慶應連合三田会長  
三四会顧問

比企 能樹 (37回)

およそ10年前、村山博良先生のお招きで高知三四会に参加し、盛会の会合の翌日、村山博良先生が高知をご案内下さった。行き届いた計画に基づき土佐をしっかりと見せてやろうと国宝の高知城の若むす階段で、私より少し年長の先生が足取り軽く昇られるのを羨ましく拝見した。

先生は35回ご卒業の刀林会員で当時は高知医師会を牽引されていたが、私にとっては慶應義塾大学のボート部すなわち體育會端艇部の先輩という事もあり尊敬申し上げていた。学生時代にオールをもつ

て頑張っておられる先生の背中が眩しく、しかし先輩としての先生は当時の體育會のパワハラ全開ではなく先輩後輩に心を配られる非常に優しいボート部員つまりオアズマンであられた。医学部端艇部員として年行事の東京大学医学部との対校戦で温和な人格者で実力派の先輩と一緒に漕がせて頂いた時の感動は一人であったが、先生のお人柄に感銘したのは医学部後輩の私だけではない。慶應義塾大学體育會端艇部員であった佐々木亨氏(32年経卒)に先生の訃報を伝えたところ「伝統の早慶戦に漕

手として一緒に漕いだことがあったが当時の怖い先輩たちの中で、一際やさしいお人柄が際立った方で忘れられない先輩」と追憶のメールを頂いた。

因みに佐々木氏は私と共に1956年のメルボルンオリンピック日本代表として出場したが、その時、慶

應義塾から五輪ボート競技に出場できたことを先生は殊の外喜んで壮行会を企画して下さい、お得意のカメラワークで沢山の写真を撮って頂いたようで、後年になって初めて見るその時の写真が沢山送られてきて驚いた。今はわが家のこのPCに大切に保存している。

高知三四会に当時三四会長として出席した私へのご褒美に個人的な土佐ツアーを催して下さいのだが、先生はある銅像の前で姿勢を正し思い入れをもって立たれた。それは1584年に群雄割拠であった四国全体を統一した長宗我部元親の、初陣の折に鎧兜に槍を構える若武者の像であった。私は寡聞にしてこの名立たる武将のことを、あまり知らなかったが先生が目撃させながら話して下さったのはこの武将の、賢く一つ事を懸命に為し、多くの人の人望を得たという人物像であった。郷里の尊敬する武将の生き方を胸において目標とされ、先生は生涯を貫かれたのであろうとよく解ったように思い、今あらためて村山博良先生を偲んでいる。



右、カメラ片手の村山先生 左、比企

に漕いだことがあったが当時の怖い先輩たちの中で、一際やさしいお人柄が際立った方で忘れられない先輩」と追憶のメールを頂いた。

因みに佐々木氏は私と共に1956年のメルボルンオリンピック日本代表として出場したが、その時、慶

應義塾から五輪ボート競技に出場できたことを先生は殊の外喜んで壮行会を企画して下さい、お得意のカメラワークで沢山の写真を撮って頂いたようで、後年になって初めて見るその時の写真が沢山送られてきて驚いた。今はわが家のこのPCに大切に保存している。



も新鮮な言葉で、外科医にも外科的治療に適応する患者の選択をする研究分野があるのかと驚かされました。当時は、患者を術前に選択する基準としてインシュリン、アドレナリン、荷胃液検査が主流でした。我々は、先生のご指導のおかげで、アドレナリン、ノルアドレナリンの前駆体でもあるドーパミンに着目し、ドーパミン負荷試験を考案し、研究をつづけました。また、このような研究をするには、内科的思考が必要で、日本消化器病学会への参加を促されました。



追悼

中川 自夫君を偲んで

生越 喬一 (50回)

私が中川自夫先生に直接指導を受けた期間は、私のフレッシュマン出張(川崎市立病院外科)から帰局した1974年から東海大学消化器外科に赴任した1977年までの3年間と短いのですが、いまから考えるに、私の後の医学研究の嚆矢の時期に重なっています。ここでは私にとって強い記憶として心に残ることを述べて、先生を偲びたいと思います。

当時、胃班のトップが中川先生であったと記憶していますが(下々には当時の医局体制がどのようなになっていたかに関してはやぶさかではありません)、私が

胃班に入った理由は、川崎市立病院の先輩の先生方に誘われたからです。そして、いつの間にか胃班の良性グループになっていました。そのことが今から思えば幸運でした。その後、先生から私にとって印象に残る言葉を頂きました。それは、「胃班良性グループは、消化性潰瘍の外科治療法に胃切除、胃を温存する治療法、すなわち、選択的迷走神経切断術(Selective vagotomy)があり、適応患者を選択、同定する研究をしている」と。

「Selective」という言葉は、迷走神経枝切離の選択の意味でしたが、私にはとても新鮮な言葉で、外科医にも外科的治療に適応する患者の選択をする研究分野があるのかと驚かされました。当時は、患者を術前に選択する基準としてインシュリン、アドレナリン、荷胃液検査が主流でした。我々は、先生のご指導のおかげで、アドレナリン、ノルアドレナリンの前駆体でもあるドーパミンに着目し、ドーパミン負荷試験を考案し、研究をつづけました。また、このような研究をするには、内科的思考が必要で、日本消化器病学会への参加を促されました。

東海大学赴任当初から、穿孔性消化性潰瘍は一手に取り扱うことになり、大網充填術、経過観察例など早期に導入することができました。また、胃癌を対象とし、個人個人に合った治療法の確立につながる研究に早くから着手出来たことも、元を糾せば先生からいただいた「Selective」という言葉にあったのではないのでしょうか。私は先生にたくさんお礼を申し上げねばなりません。有難うございました。中川先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

開業



9月2日に飯田橋西口富士見教会広場に面している場所に、新見正則医院を開院しました。このクリニックの目的は世界初の抗がんエビデンスを得た生薬ファイアを啓蒙普及することです。ファイアは肝臓がんと術後の患者さん約1000人を内服群と非内服群に分けて、生存率をエンドポイントとして明らかに有益性が証明されました。その結果は英文誌GUTに2018年に掲載されまし



新見 正則 (64回)

た。現在、小細胞肺癌やトリプルネガティブ乳がんを含めていろいろながんに対する大規模臨床試験が進行中です。また生薬らしく免疫力を上げる効果があるため現在流行している新型コロナウイルス肺炎の治療薬としても北京市の公式ページにも記載されています。ファイアの副作用は稀におこる下痢のみで、また他の治療に悪影響を与えることもないため、今現在治療を行っている方も、また加療中の患者さんでも使用可能です。そこで、がんになりたくない方、がんの再発が心配な方、またがんと闘病中で明らかなエビデンスを有する治療を加えたい方などがターゲットです。いろいろな治療が行われこれ以上の奏功は期待できず緩和医療を勧められている方も内服して

います。つまり、ファイアは明らかな抗がんエビデンスがある体に優しいアジュバント治療というイメージです。詳細は「日本ファイア研究会」のHPをご参照ください。帝京大学在職中は半日で数十人の患者さんを診ていました。数分の診療では自分が満足できる医療サービスを提供できないと悟り、自由診療で一人30分から1時間ゆっくりとお話を伺っています。海外の患者さんからの依頼も多く、ズームでの診察も行っていきます。自分が過ごしたい空間を作りたく、メゾネットタイプ(実際は6階)を主診察室と薬局に、そして1階部分(実際は5階)の4部屋を個室の待合室として使用しています。トイレもそれぞれの階にありますので、患者さん同士が遭遇する



ことはありません。コロナウイルス肺炎の影響を最小限に抑えて、快適な空間が提供できていると自負しています。僕のアイデンティティーと思考方法は慶應義塾大学と博士課程取得のため5年間過ごしたオックスフォード大学がベースにあります。そこで、家具や調度は英国アンティークで統一しました。検査は一切行わず、自分が間違いなく健康に有効だと自負しているファイアに漢方薬を少々加えて投薬加療しています。クリニックを意識せず、ノンビリと過ごしていただきたく、お茶やコーヒーなどを患者さんと一緒に飲みながら、セカンドオピニオン外来で培った話術を駆使して、楽しく外来を行っています。信濃町からは3駅です。是非、遊びに来て下さい。今後とも、今まで以上に刀林会のみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

第32回日本内視鏡外科学会総会 収支決算報告

第32回日本内視鏡外科学会総会 収支決算報告

Table with 4 columns: Item, Unit, Quantity, Amount. Includes sections for Income (I), Expenses (II-IV), and Other (V-VI).

支出(別添明細) ※消費税10%含む

Table with 2 columns: Item, Amount. Summary of expenses for the 32nd General Meeting.

第32回日本内視鏡外科学会総会 収支報告書

### 新入室者



青木 輝  
(97回相)

出身高校：栃木県立宇都宮高等学校

出身大学：福井大学  
大学時代の部活または趣味：バレーボール、スノーボード

初期臨床研修は済生会宇都宮病院、現在は足利赤十字病院で日々修行させていただいております。手術を多く執刀させていただき、充実した生活を送らせていただいております。今後とも宜しくお願い致します。



石黒 勇輝  
(97回)

出身高校：日比谷高校  
出身大学：慶應義塾大学  
部活動：サッカー部

この度、外科学教室に入局させて頂きました。97回の石黒勇輝です。国立国際医療研究センター病院での初期研修を経て、現在、埼玉メディカルセンターにて外科研修をさせて頂いております。日々学びが多く、様々な経験をさせて頂き充実した研修生活を送っております。至らぬ点、多々あるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



伊藤 よう子  
(97回相)

出身高校：横浜共立学園  
出身大学：横浜市立大学  
大学時代の部活動または趣味：ヨット部

この度、慶應義塾大学外科学教室に入局させていただきました。伊藤よう子と申します。現在、共済立川病院で研鑽を積ませていただいております。諸先輩方より温かいご指導を頂き、充実した日々を過ごさせていただいております。伝統ある刀林会へ入会させて頂き、大変光栄です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願致します。



井本 智博  
(97回相)

出身高校：洛南高等学校  
出身大学：聖マリアンナ医科大学  
クラブ：喫煙部、ゴルフ部

この度、慶應義塾大学外

科学教室に入局させて頂きました。井本智博と申します。現在、東京都済生会中央病院にて、外科医としての研修を開始し研鑽を積んでおります。日々、諸先輩方からの温かいご指導の下、非常に充実した研修生活を送らせて頂けることにとても感謝しております。

精一杯精進する所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



植松 陽介  
(97回相)

本年度、慶應義塾大学外科学教室に入局致しました。植松陽介と申します。出身高校は海城高校で、出身大学は東京慈恵会医科大学です。バスケットボール部に所属しておりました。外科医としてこれから精進して参ります。よろしくお願申し上げます。



内田 麻矢子  
(97回相)

出身高校：女子学院高等学校  
出身大学：東京女子医科大学  
部活動または趣味：バスケットボール部

この度、慶應義塾大学外科学教室に入局させていただきました。内田麻矢子と申します。済生会宇都宮病院での初期研修修了後、現在は静岡赤十字病院で外科研修をさせて頂いております。至らぬ点が多くご迷惑をおかけするかと存じますが、精一杯精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



栄永 直樹  
(97回相)

出身高校：県立宮崎大宮高校  
出身大学：日本大学  
クラブ活動：山岳部

この度、慶應義塾大学外科学教室に入局させていただきました。栄永直樹と申します。

初期研修を東京臨海病院で修了し、現在は練馬総合病院で外科研修をさせて頂いております。丁寧かつ熱心な先生方のご指導のもと、日々充実した研修をさせて頂いております。専修医として、責任のある仕事が増えつつも、中々で悩みながらも、貴重な経験を積ませていただき本当に感謝しております。まだまだ至らぬ点も多く、ご迷惑おかけしますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願致します。

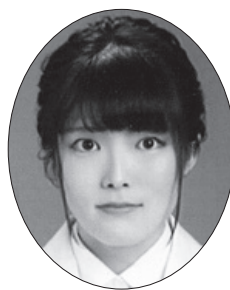


枝浪 元紀  
(97回)

出身高校：駒場東邦高校  
出身大学：慶應義塾大学  
大学時代の部活動：水泳部

この度、慶應義塾大学外科学教室に入局させていただきました

いただきました。枝浪元紀と申します。足利赤十字病院で初期臨床研修修了後、多摩丘陵病院で外科研修をさせて頂いております。丁寧かつ熱心な先生方のご指導のもと、充実した研修をさせて頂いております。日々弛まず精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



栗田 安里沙  
(97回)

出身高校：豊島岡女子学園高等学校  
出身大学：慶應義塾大学  
大学時代の部活動または趣味：映画・音楽鑑賞、囲碁

本年度外科学教室に入局しました。栗田と申します。川崎市立井田病院での初期臨床研修の経験から乳腺外科を志望しました。現在は湘南東部総合病院で沢山の手術経験をさせて頂いております。今後とも何卒よろしくお願申し上げます。





黒尾 健人  
(97回相当)

出身高校…栃木県立宇都宮高校  
出身大学…昭和大学  
大学時代の部活動…アカペラ部  
趣味…音楽、バスケットボール

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室いたしました、97回生相当の黒尾健人と申します。  
初期研修を済生会宇都宮病院で修了し、現在は佐野厚生総合病院で外科研修を

させていたただいております。  
外科の基礎基本を体得できるよう、先生方の熱心なご指導のもと日々邁進しております。

将来的には心臓血管外科医、さらには小児心臓外科の道に進みたいと考えておりますが、まずは目の前のことにコツコツ取り組み、地に足つけて努力を積み重ねていきたい所存です。  
今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



正源 勇朔  
(97回相当)

出身高校…聖光学院高等学校  
出身大学…慶應義塾大学  
大学時代の部活動または趣味…硬式野球部

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させていただきました。東京歯科大学市川総合病院で初期研修修了後、平塚市民病院で外科研修をさせていただきます。日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



園田 啓太  
(97回相当)

出身高校…筑波大学附属高校  
出身大学…慶應義塾大学  
大学時代の部活動または趣味…サッカー部

この度慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました園田啓太と申します。初期研修を川崎市立川崎病院で修了し、現在は日野市立病院の専修医として研鑽を積ませて頂いております。素晴らしい諸先輩方から心のこもったご指導を頂き、充実した日々を送っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



林 秀行  
(97回相当)

出身高校…聖光学院高等学校  
出身大学…慶應義塾大学  
部活動…野球部

現在は日本鋼管病院で充実した外科研修をおこなっております。早く一人前の外科医になりたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



方宇 慶蒼  
(97回相当)

出身高校…開成高校  
出身大学…慶應義塾大学  
部活動…サッカー部

今年、慶應義塾大学外科学教室に入局致しました方宇慶蒼と申します。良い外科医となれるように精一杯精進して参ります。今後とも御指導御鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。



百瀬 ゆずこ  
(97回相当)

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させていただきました。97回相当の百瀬ゆずこ(ももせゆずこ)と申します。県立松本深志高校、埼玉医科大学出身であり、学生時代はスキー部に所属しておりました。今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い致します。



矢野 海斗  
(97回相当)

2020年度に外科学教室に入局しました、矢野海斗と申します。出身高校は東京学芸大学附属高等学校で、出身大学は慶應義塾大学です。大学時代はヨット部に所属しておりました。今後ともどうか宜しくお願い申し上げます。



山根 沙英  
(97回相当)

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました、山根沙英と申します。

立川共済病院、慶應義塾大学病院での初期臨床研修を経て、現在は川崎市立井田病院にて、先生方のご指導の下、外科修練を積ませて頂いております。至らぬ点ばかりですが、外科医として成長できるよう日々努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



刀林会  
新入会者紹介

入江 理絵  
(86回相当)

さいたま市立病院

平成21年に富山大学を卒業後、昭和大学小児外科での勤務、大学院を経て令和元年度よりさいたま市立病院小児外科に入職いたしました。  
若輩者ではありますが、日々邁進して少しでも地域医療ならびに本会に貢献できれば幸いです。

SUBARU健康保険組合  
太田記念病院

成松 裕之  
(93回相当)



上尾中央総合病院にて研修中

宇治 大智  
(97回相当)



慶應義塾大学病院 外来 外科担当表

初診外来 (午前)

一般・消化器外科

月 北川雄光  
火 阿部雄太  
水 和則仁  
木 尾原秀明  
金 北郷実  
土 川久保博文

小児外科

月 黒田達夫  
火 黒田達夫  
水 交代制  
木 山田洋平  
金 加藤源俊  
土 山田洋平

心臓血管外科

月 伊藤努  
火 山崎真敬  
水 木村成卓  
木 志水秀行  
金 川合雄二郎  
土 高橋辰郎  
月 秋山章

呼吸器外科

月 朝倉啓介  
火 浅村尚生  
水 政井恭兵  
木 加勢田馨  
金 菱田智之  
土 浅村尚生

脳神経外科

月 秋山武紀  
火 佐々木光  
水 高橋里史  
木 戸田正博  
金 三輪正博  
土 秋山武紀  
植田崇良

◎印 診療部長 ○印 診療副部長

特殊外来 (午前)

月 血管 松原健太郎  
火 肝胆膵 北郷実  
水 肝胆膵 篠田昌宏  
木 腸 尾原秀明  
金 腸 岡林剛史  
土 食道・胃 高橋麻衣子

月 肝胆膵・移植 八木洋  
火 肝胆膵・移植 松原健太郎  
水 肝胆膵・移植 岡林剛史  
木 肝胆膵・移植 岡林剛史  
金 肝胆膵・移植 岡林剛史  
土 肝胆膵・移植 岡林剛史

特殊外来 (午後)

月 肝胆膵・移植 北郷実  
火 食道・胃 川久保博文  
水 呼吸器 朝倉啓介  
木 機能疾患・パーキンソン病(月1回) 大平貴之  
土 肝胆膵・移植 阿部雄太  
月 ヘルニア 和田真之

火 呼吸器 朝倉啓介  
水 呼吸器 朝倉啓介  
木 呼吸器 朝倉啓介  
金 呼吸器 朝倉啓介  
土 呼吸器 朝倉啓介

月 小児移植(第1・3) 佐々木光  
火 小児移植(第1・3) 佐々木光  
水 小児移植(第1・3) 佐々木光  
木 小児移植(第1・3) 佐々木光  
金 小児移植(第1・3) 佐々木光

金 小児移植 岡林剛史  
土 小児移植 岡林剛史  
月 小児移植 岡林剛史  
火 小児移植 岡林剛史  
水 小児移植 岡林剛史  
木 小児移植 岡林剛史  
金 小児移植 岡林剛史

編集委員

委員長 川村 雅文  
副委員長 石井 良幸  
顧問 佐藤 周三  
顧問 磯部 陽  
顧問 小澤 壯治  
顧問 古梶 清和  
顧問 儀賀 理暁  
顧問 齋藤 淳一  
顧問 藤野 明浩  
顧問 大塚 崇  
顧問 下島 直樹  
顧問 落合 大樹  
顧問 吉武 明弘  
顧問 木村 成卓  
顧問 松原健太郎  
顧問 中村理恵子  
顧問 松本 暁子

編集後記

新型コロナウイルス第3波が襲来し、再び自粛が強く呼びかけられているが、再々の要請に、巷の反応も今ひとつのように感じられる。ワクチン接種が広く国民に行き渡ること待たせなければならないが、超低温保存が必要なこのワクチンを全国津々浦々に行き渡らせるには、その搬送システムの確立にも時間を要するらしい。まだしばらく辛抱の日々が続きそうだが、本紙がコロナ対応に日々奮闘されている刀林会の諸氏に、少しでも元気をお届けできれば、と願っています。  
M.K



開業

●安井 信隆君 (69回)  
天王町セントラルクリニック  
令和2年7月6日  
●新見 正則君 (64回)  
新見正則医院  
令和2年9月2日  
●南雲 正士君 (62回)  
池上みなみ内科クリニック  
令和2年11月14日  
●半田 寛君 (80回)  
あさか内科クリニック  
令和2年12月1日  
●佐藤 襄二君 (33回相)  
令和2年1月27日  
●板東 健史君 (41回)  
令和2年3月30日  
●村山 博良君 (35回)  
令和2年7月22日  
●山本 弘君 (39回)  
令和2年8月6日  
●佐々木 哲二君 (44回)  
令和2年9月12日  
●大菅 志郎君 (45回相)  
令和2年11月15日  
●高橋 正彦君 (47回)  
令和2年11月24日

訃報

●佐藤 襄二君 (33回相)  
令和2年1月27日  
●板東 健史君 (41回)  
令和2年3月30日  
●村山 博良君 (35回)  
令和2年7月22日  
●山本 弘君 (39回)  
令和2年8月6日  
●佐々木 哲二君 (44回)  
令和2年9月12日  
●大菅 志郎君 (45回相)  
令和2年11月15日  
●高橋 正彦君 (47回)  
令和2年11月24日

刀林会ホームページが  
アクセスしやすくなりました。  
外科学教室 ホームページにアクセス  
<http://keiosurg.umin.jp/>  
同窓会 をクリックしてください。  
ID、パスワードの入力の必要はございません。  
よろしくお願いいたします。

刀林会会員管理システムについて  
郵便物発送先、一斉メールにてのお知らせなど  
「刀林会会員管理システム」にておこなっております。  
メールアドレス、ご勤務先、ご自宅住所などの  
ご変更があった場合は、  
ご自身にてアップデートしていただくことを  
お願いいたします。

開業についてのお知らせ  
開業の際は、同窓会へご連絡をお願いいたします。  
記念に刀林会より盾を進呈いたします。  
よろしくお願いいたします。  
<刀林会 事務局>  
〒160-8582 新宿区信濃町 35  
慶應義塾大学医学部外科同窓会事務局  
TEL : 03-5363-3800  
FAX : 03-3359-9130  
tourin-h@keio.jp

